

小学生のぼうさい探検隊マップコンクール

入選作品集





第21回 2024年度



小学生のぼうさい探検隊マップコンクール



CONTENTS



● 審査の様子	2P	● 入選作品紹介	6P
● 審査基準および応募作品の傾向	3P	● 応募状況	31P
● 審査総評	4P	● 過去の入選作品	34P

入選一覧

- **文部科学大臣賞**
石巻市立大街道小学校
「令和5年度大街道小4年生」(4年生/宮城県)
- **防災担当大臣賞**
かほく市子ども会 高松支部 南中町子ども会
「南中町子供会」(6年生/石川県)
- **消防庁長官賞**
公益財団法人かわさき市民活動センター 東小田小学校わくわくプラザ
「東小田小学校わくわく調査隊」(2~5年生/神奈川県)
- **まちのぼうさいキッズ賞**(日本ユネスコ国内委員会会長賞)
京都市七条第三児童館安全マップづくり隊×七三学区社会福祉協議会
「七条第三児童館×七三学区社会福祉協議会 まち歩き安全マップ
づくり隊」(4~6年生/京都府)
- **気象庁長官賞**
愛南町立柏小学校「柏防災イレブン」(3~6年生/愛媛県)
- **キッズリスクアドバイザー賞**(日本損害保険代理業協会賞)
ポラリス児童クラブ「防災6年探検隊」(6年生/大分県)
- **未来へのまちづくり賞**(朝日新聞社賞)
いるかクラブ(中村第二小学校放課後児童クラブ)
「いるか探検隊」(3年生/福島県)
- **わがまち再発見賞**(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)
登米市社会福祉協議会登米支所 とよま防災探検隊
「とよま防災探検隊」(4~6年生/宮城県)
- **ぼうさい探検隊賞**(日本損害保険協会賞)
鳥羽市安楽島子ども会
「安楽島キッズ探検隊」(1、2、4、5年生、年長/三重県)
- **審査員特別賞**
仙台市大野田児童館
「チーム『おおのだー』」(5、6年生/宮城県)
石巻市立万石浦小学校
「万石浦小学校4年生」(4年生/宮城県)
福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊
「すみれ・みつばちぼうさい探検隊」(3年生/福島県)
公益財団法人かわさき市民活動センター渡田小学校わくわくプラザ
「チーム にこサン」(3年生/神奈川県)
岩国市立川上小学校「川上ワクワク冒険隊」(3、5年生/山口県)
沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター
「にじいろ探検隊」(2、5年生/沖縄県)
沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ
「なないろ9探検隊」(4、5年生/沖縄県)
こくらッコガールズ「こくらッコガールズ」(3年生/沖縄県)
- **デジタルマップ特別賞**
豊浦町立豊浦小学校
「1班豊浦安全第一チーム」(4年生/北海道)
ミラキュラス探検隊
「ミラキュラス探検隊」(3年生/東京都)
ガールスカウト神奈川県第53団「GS KANAGAWA 53」
(1、2、4、5年生、年長、中学1年生/神奈川県)
キッズステーション NARUTO
「あんぜんキッズたい」(1、2年生/徳島県)
宇和島市立遊子小学校
「番匠かめチーム」(1、3、5年生/愛媛県)

ごあいさつ



日本損害保険協会会長の城田です。「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」の主催者を代表して、ご挨拶申し上げます。

コンクールに入賞された皆さん、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

21回目となる今回のコンクールには、419の小学校や児童館などから、7,590人が参加し、1,413の作品を応募いただきました。まち探検で発見した地域の課題や改善策について一生懸命に考えている皆さんの姿が目に見え、臨場感あふれる素晴らしい作品ばかりでした。中には、まち探検の気づきを自治体に要望・提言したことで、破損した標識が修繕された事例などもありました。「ぼうさい探検隊」の活動を通じて、皆さん自身が地域の安心・安全を築き上げてくださっており、大変うれしく、また、頼もしく思います。

今年度のマップには、令和6年能登半島地震による被害の様子や教訓をまとめたもの、火山分布や熊の出没ポイントをまとめたものなど、地域性を踏まえたものも見受けられ、多様な観点から深く学習していることがよく感じられる作品が数多くありました。

私たちが暮らしている日本は、位置や地形、気象などの条件から、台風や地震、津波などによる災害が発生しやすい特徴があります。そのため、事前に備えておくこと、特に、まちを知り地域の方々と繋がっておくことはとても大切で、万が一の際には皆さんや家族の安全を守る大きな助けとなります。

今回、皆さんがまち探検やマップづくりを通じて学んだことを、ぜひ家族や友達、地域の方々に伝えてください。自分たちだけでなく、身近な人にも新たな気づきを与えることで、皆さんが住む地域全体の防災・防犯・交通安全の意識の向上にも繋がるものと信じています。

「ぼうさい探検隊」を実施するにあたって指導にあられた先生方、団体・地域・保護者の皆さまにおかれましては、多大なるご支援とご協力をいただき誠にありがとうございました。子どもたちが時間をかけて一生懸命取り組んだこの経験は、子どもたちの将来にとってかけがえのない財産となるはずで、引き続きご支援賜れますと幸いです。

そして、本取組みにご理解とご協力を賜りました関係各府省庁、自治体の皆さまにも厚く御礼申し上げます。「ぼうさい探検隊」を通じて小学生の皆さんが得た学びが、地域社会の安心・安全へと繋がっていくこと、また、今後さらに広く取り組まれていくことを心より祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

一般社団法人 日本損害保険協会
会長 城田 宏明



「ぼうさい探検隊」とは…

子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災・防犯・交通安全の施設や設備を発見してマップにまとめる活動のことです。マップ作成後は、発表を通して活動を振り返り、学んだことをみんなで共有します。子どもたちの「安心・安全への意識」が高まるだけでなく、まさに「地域ぐるみの安全“共有”」が着実に深まり、コミュニティの強化にも繋がります。

主催 日本損害保険協会/朝日新聞社/日本災害救援ボランティアネットワーク
後援 内閣府/文部科学省/警察庁/消防庁/気象庁/UNESCO/日本ユネスコ国内委員会/日本ユネスコ協会連盟/
全国都道府県教育委員会連合会/沖縄県/アジア防災センター/児童健全育成推進財団/日本損害保険代理業協会/
ボーイスカウト日本連盟/ガールスカウト日本連盟/NHK/防災士研修センター

審査の様子

2024年度のコンクールには、全国の小学校や子ども会・児童館・少年消防クラブなど、419団体から7,590人の児童が参加し、1,413作品が寄せられました。第1回から第21回までの参加人数は累計23万5千人を超えました。

審査員の方々から、「どの作品にもそれぞれすばらしい視点があって、甲乙つけがたい」「どの作品からも、児童と地域の方々との繋がりがひしひしと伝わってきて、選出が難しい」などの感想が寄せられました。

審査日程

事務局審査:2024年11月13日(水)

本審査:2024年12月4日(水)

第一次審査:2024年11月20日(水)

結果発表:2024年12月18日(水)

本審査の様子



本審査員

あつみ ともひで 氏
渥美 公秀氏

大阪大学大学院人間科学研究科 教授

きのした ふみこ 氏
木下 史子氏

文部科学省 総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育調査官

にしざわ まさみち 氏
西澤 雅道氏

内閣府 政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当)付企画官

つちだ ひろやす 氏
土田 裕康氏

総務省消防庁 国民保護・防災部防災課地域防災室 課長補佐

なまため ゆみ 氏
生田目 裕美氏

文部科学省 国際統括官付国際統括官補佐

たかはし けんいち 氏
高橋 賢一氏

気象庁 総務部企画課 地域防災企画室長

おだじま あやこ 氏
小田島 綾子氏

一般社団法人 日本損害保険代理業協会 会長

やまだ ゆう 氏
山田 優氏

株式会社朝日新聞社 広報・ブランド推進部 部長代理

てらもと ひろのぶ 氏
寺本 弘伸氏

特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事

いずはら たかし 氏
伊豆原 孝氏

一般社団法人 日本損害保険協会 常務理事

審査基準および応募作品の傾向

審査基準

提案性(子どもの視点でのまちへの提案や、地域改善へ向けた気づき・提言)

- 子どもならではの発見やまちへの提言が書かれているか
- マップを通して伝えたいことが明確になっているか

教育効果性(子どもたちの防災・防犯・交通安全意識の変化、地域への愛着・関心の醸成)

- マップを作成するにあたり、しっかり地域を調べているか
- 地域住民とのコミュニケーションなどにより、多くの人から学んだ姿勢が見えるか

地域性・テーマ性(地域固有の災害特性や問題点、まちの様子や特徴)

- 地域の災害や危険な場所を想定した作品づくりができているか
- 地域災害の特性や問題点などが明確になっているか

ビジュアル性(地図として見やすく、情報を簡潔に伝えるための工夫)

※紙作品のみ

- 色や写真、イラストを効果的に使用しているか
- 多くの人に見やすく、分かりやすい作品になっているか

※デジタルマップ(タブレット)作品のみ

- 単に安全・危険だけでなく、写真の場所を説明するコメント(高い塀がある、信号機がないなど)が記載されているか
- 実際に発見したものと場所を記載するだけでなく、コメント欄に発見したものや場所に対する子どもたちの感想や考えなどが一緒に記載されているか
- 指導者が子どもたちの言動や思いをしっかりと把握し、作品紹介用紙に記入しているか

提案性

- 狭い道路の拡幅工事やブロック塀の補強、ガードレールの設置など、まち探検を通じて発見した課題を改善できるよう、自治体に要望・提言した作品が見受けられた。

- 耳の不自由な人や車いす利用者、ペット同伴者など、さまざまな人の立場に立ったうえで、災害発生時に取るべき行動を想定して作成した作品が見受けられた。

教育効果性

- 地域の方や学校の先生、警察官などに、過去の災害や不審者情報、交通事故などの被災・被害状況についてのインタビューを行い、注意点や日頃の備えなどを学んだことが分かる作品が多くあった。

- 細い路地や道路の小さなヒビ割れなど、大人が一見するだけでは気づかないような点も、まち探検を通じて発見し、深く調べていることが分かる作品が多く見受けられた。

地域性・テーマ性

〈防災〉

- 令和6年能登半島地震での被災の様子や教訓、津波の発生メカニズム、過去の災害の事例など、地震や津波をテーマにしたマップが多く見受けられた。

- 台風や大雨による洪水などの水害について、地形の特徴や四季に注目して、危険性・安全性に言及している作品が見受けられた。

- 火山の危険性や熊の出没ポイントをまとめたマップなど、地域性に富んだ作品も見受けられた。

〈防犯〉

- 不審者が出た際に避難できる「子ども110番の家」や、避難がしやすい店などを調査することで、方が一のときに役に立つ、実用性の高いマップも見受けられた。

- 「い・か・の・お・す・し」(※)などの防犯用語を用いて、公園の茂みや学校裏の路地など、地域の死角となる危険な場所を分かりやすく説明している作品が多くあった。

- ※防犯標語「ついていけない」「車にのらない」「おおごえを出す」「すぐ逃げる」「大人の人にしらせる」のこと。

〈交通安全〉

- 道路や歩道に雑草が生えていて、歩行者や自転車の妨げとなる危険箇所を示したマップや、地域住民が交通量の多い通学路を見守ることで、子どもたちの安全を確保していることが分かる作品が見受けられた。

- カーブミラーやガードレール、歩道の有無などに注目し、マップに安全・危険を示すだけでなく、それらが設置されている意味や効果までまとめた作品が見受けられた。

ビジュアル性

- オリジナルキャラクターによるマップの説明、二次元コードの掲載、立体的な地図の作成などにより、マップを分かりやすくかつ楽しく見られる工夫を凝らしている作品が見受けられた。

- 危険な場所や安全な場所を付箋やシール、色分けをして視覚的にわかりやすくするだけでなく、写真だけでは伝わらない点について、イラストを使って説明することで「見える化」させ、より理解しやすい作品が多く見受けられた。

審査総評



審査員長
あつみ ともひで
渥美 公秀 氏
大阪大学大学院
人間科学研究科 教授

● 審査総評

「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」は、防災・防犯・交通安全などの日常生活におけるさまざまな危険に対して、地域でどのような対策ができるかを考える機会を提供しています。

21回目となる今回のマップコンクールには1,413点の作品が寄せられました。たくさんの作品をご応募いただき、ありがとうございました。子どもの自線で地域をしっかりと調べた作品が多くあり、どの作品からも子どもたちの想いが伝わってきました。

今回の作品には3つの特徴がありましたので、ご紹介します。

1つ目は、高齢者や目の不自由な方など、さまざまな人の視点に立って防災・防犯・交通安全を考えたマップが多かった点です。そうした方々の身になって地域を歩いたり、インタビューしたりするなどの取り組みが数多くありました。

2つ目は、特に低学年の子どもが、大人が一見するだけでは見逃してしまうような点に気がついていることです。

3つ目は、令和6年能登半島地震から学んだことを、自分たちの地域で活かしていこうと感じられるマップがたくさん見受けられた点です。

このような特徴を持ったすばらしいマップが数多くありました。今後も、地域の方々を巻き込みつつ、楽しくマップづくりを続けていただけるとうれしいです。

■ 文部科学大臣賞

石巻市立大街道小学校の作品は、子どもたちが東日本大震災の復興について、地域の大人から色々な場所の案内をもらうことで、地域の復興過程を学ぶ様子が伝わるマップです。このマップは東日本大震災の発生時にはま

だ生まれていない4年生が作った作品です。地震を経験していない子どもたちが被災された方々から当時の話を聞き、さらにマップを通じて次の世代にも伝えていく取り組みを評価しています。皆さんの気持ちがよく伝わるマップです。

■ 防災担当大臣賞

かほく市子ども会高松支部南中町子ども会の作品は、令和6年能登半島地震で被災した地域について調査したマップです。町内会長や消防団の方々に被災後に地域で行っている対策についてのインタビューをして、マップに表現しました。また、このマップは防災に関する必要なポイントをまとめている点を評価しています。要点を絞り、マップを分かりやすく表現した姿勢が伝わります。

■ 消防庁長官賞

公益財団法人かわさき市民活動センター東小田小学校わくわくプラザの作品は、令和6年能登半島地震で大規模な火災が発生したことを受け、自分たちのまちが大規模な火災に見舞われた際にどうなるのかということを考えて作ったマップです。市の防災課の方にインタビューをして、消火栓の位置、延焼被害を抑制するために建物と建物の間の空地を確保する「防災空地」など、消防設備を詳しく調べている点を評価しています。

■ まちのぼうさいキッズ賞(日本ユネスコ国内委員会会長賞)

京都市七条第三児童館安全マップづくり隊×七三学区社会福祉協議会の作品は、車椅子や歩行器、多点杖を利用する方や、目の不自由な方などと同じ条件でまちを歩き、子どもたちが実際に体験して感じたことをまとめているマップです。また、体験して気づいた課題などを警察署・市役所・福祉用具事業者に提言し、フィードバックをもたせてマップにまとめている点を評価しています。

■ 気象庁長官賞

愛南町立柏小学校の作品は、高齢者と防災の2つのテ

マの課題について改善を提案しているマップです。さまざまな災害に対して、防災に取り組む必要がありますが、高齢者には防災をする体力があまりないと考えたことから、高齢者が体力をつけ、防災に取り組めるようにするために、「お散歩マップ」を提案しています。優れた発想で、前向きに明るくなるマップです。

■キッズリスクアドバイザー賞(日本損害保険代理業協会賞)

ポラリス児童クラブの作品は、3つの特徴があるマップです。1つ目は、以前よりポラリス児童クラブが提言していた海拔表示板が改善され、この度新しくなったことです。2つ目は、地域の避難所を調べ、1次避難所と収容避難所でのペット受入れ可否の違いを発見し、日頃見落としがちなどころまで詳しく調べられている点です。3つ目は、地図の特性を活用して、まちに襲いかかる津波の範囲と避難すべき場所を視覚的に分かるようにしている点です。この3つの特徴を評価しています。

■未来へのまちづくり賞(朝日新聞社賞)

いるかクラブ(中村第二小学校放課後児童クラブ)の作品は、防災・交通安全の観点から、耳の不自由な方々に対して、どのように思いやりを示すとよいのかという点について詳細に調べたマップです。耳の不自由な方が地域にどれくらいいるのか市役所に聞きに行き、さらに、手話サークルを通じて、手話を学び、実際に使うことで、耳の不自由な方との接し方まで深く学習できています。学びの経緯を分かりやすくまとめている点を評価しています。

■わがまち再発見賞(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

登米市社会福祉協議会登米支所とよま防災探検隊の作品は、これまでに経験したことのないような大雨が降った際に、地域でどう行動すればよいかについて考えられているマップです。ハザードマップを確認するとともに、高齢者と一緒にまちを歩いた感想を記し、そこから発見した課題についての提言をしています。参加した子どもたちの一生懸命さや、地域に対して愛着を感じていることが伝わる作品となっています。

■ぼうさい探検隊賞(日本損害保険協会賞)

鳥羽市安楽島子ども会の作品は、地域の防災無線の取り換えられる前と後で、防災無線の音の聞こえやすさがどう変化したかについて調査したマップです。地域の方々にアンケートを実施して、防災無線が改善された点と改善されていない点を明らかにしています。また、防災無線の開始の合図となるチャイムの時間を長くすると、放送に気がつく人が増えるのではといった提言などもしています。

■審査員特別賞

今回は優れた作品がたくさんありました。例えば、熊の出没に注目し、地域の危険と捉えるとともに動物とどのように共生していくかを検討したマップや、花蓮地震による津波警報を受け、自分たちのまちについて考えたマップ、二次元コードを埋め込んだマップなどがありました。また、子どもらしい視点での感想や要望を含んだマップが多くあり、中には出来上がったマップを、地域の方々に報告し、住民から意見を聞いている様子がかがえるマップもありました。どの作品も審査員特別賞に相応しい素晴らしいマップだと思います。

■デジタルマップ特別賞

今回は、約600点のデジタルマップをご応募いただきました。多数の作品の中から選ばれた5つのマップについて、一言ずつ紹介します。まず、地域の交通安全について丁寧に確認し、提言を行っているマップがありました。また、都市を流れる中小河川に注目し、通学路や遊び場が水害時にどのようなようになるか考えたマップ。地域を調べた結果、高低差があり、水害発生リスクが高いことに気がついたマップ。小学1、2年生がまちを歩き、来年度の新1年生に危ない所を教えてあげようというマップがありました。そして最後に、南海トラフ地震を想定した対策などを学び、その結果を地図に表し、さらに完成したマップを市の事前復興計画の話し合いの場に情報提供するところまで実施したマップがありました。この5つのデジタルマップに代表されるように、いずれの作品も力作揃いでした。すばらしかったです。



もんぶかがくだいじんしょう 文部科学大臣賞

学年 4年生
人数 40人
分野 防災

いしのみき しりつ おおかい どうしょう がっこう
石巻市立大街道小学校
れいわ ねん ど おおかい どうしょう ねんせい
「令和5年度大街道小4年生」



VOICE よろこ 喜びの声

じどう チームの児童のみなさん

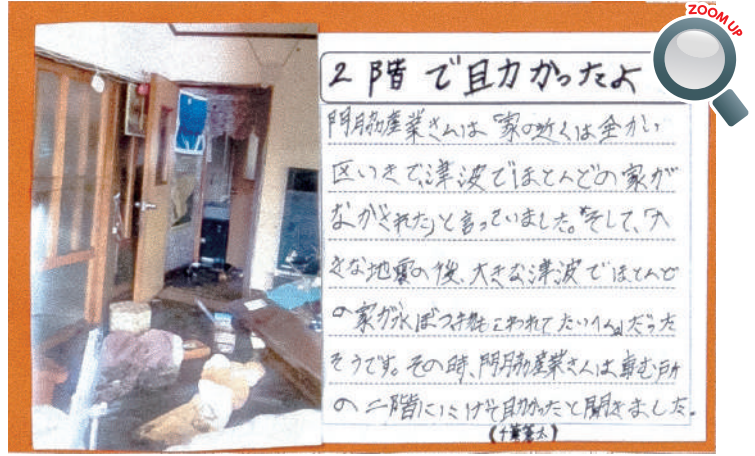
すばらしい賞をいただけてとてもうれしいです。実際にまち探検をして見たことや、地域の方から話を聞いたことをもとにマップを作成しました。自分たちが学んだことをまとめたこのマップをより多くの人に知ってもらい、防災について考えてもらいたいです。

しどう 指導された わたなべ さちこ 渡邊 幸子さん

東日本大震災で何があったか知ることから始めたマップづくり。当時の様子を知る方々から実際に話を聞くことで、今後同じような災害があったらどう行動するかという防災意識に繋がる活動になったと思います。協力して下さったたくさんの地域の方々に感謝しています。

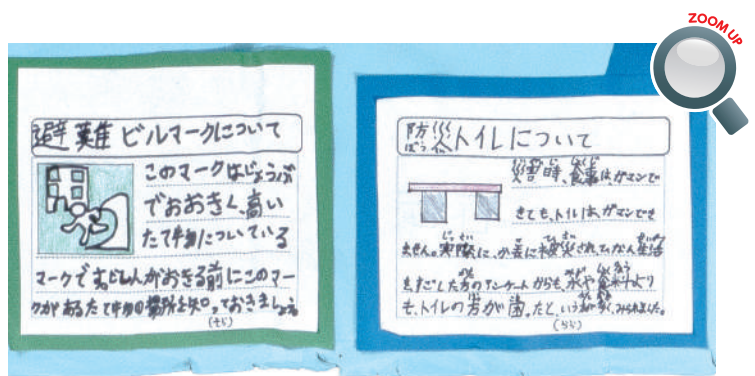
COMMENT 審査員からのコメント

自分たちが生まれる前におきた東日本大震災の
 ことについて地域の方にインタビューし、
 当時の写真や体験談を集めてマップづくりを
 している。震災時の息づかいが伝わってくる
 ような具体的な話を次世代に伝えていこうと
 する、地域の方の復興にかける思いが作品を
 通じて伝わってくる。災害に対してさまざま
 な備えや設備についてもまち探検を通じて調
 べ、安全で安心なまちづくりという視点が盛
 り込まれている点も高く評価する。災害伝承
 のバトンを地域の方から受け取った皆さん
 が、地域の方に何ができるか考える出発点と
 していただきたい。



POINT その他の評価ポイント

- 海に近接した学校区全体が津波浸水想定区域となっていることを認識したうえで、津波に対する備えを“自分ゴト”として捉え、より高い所へ避難することの重要性を示している。
- 地域の危険な場所や安全な場所について、なぜその場所が危険・安全かをまとめたうえで、マップを見た人にどうして欲しいかという点まで発信している。
- 「避難ビルマーク」や「防災トイレ」など、災害時に役に立つものについて、その位置する場所や意味をまとめることで、実用的なマップとなっている。





石川県

学年 6年生

人数 3人

分野 防災

ぼうさいたんとうだいじんしょう 防災担当大臣賞

しこ かい たかまつ し ぶ みなみなかまち こ かい
かほく市子ども会 高松支部 南中町子ども会
みなみなかまち こどもかい
「南中町子供会」

自分の命は自分で守ろう!!

南中町子供会 防災マップ

メンバー 小山 珠生 吉田 龍生 川端 侑奈 1年

作成日 令和6年8月11日

テーマ: 地震 津波

津波
→高台に逃げる

火事
→水をかける(消火栓をさがす) 消防を呼ぶ(119番)

家屋の倒壊
→ブロックベール、電柱から離れる

土砂くずれ
→山に近づかない

地震に備えよう!!

食べ物・飲み物 水 カンパン カップラーメン	日用品 トイレ ラジオ 服
貴重品 けいたい 通帳 ハンコ	便利品 毛布 懐中電灯

豆知識
「もっと安全な街にするためにお原真!!」
地震が起きたときにすぐに避難できるように定期的に避難経路を確認をしてほしいです。
安全確認をするために名簿を作りたいと町内会長が言っていたので住んでいる人はみんなも協力してほしいです。
避難場所がわからない人もいると思うので避難マップを作ってみんなにこはたりよく集まる場所には、おいてほしいです。
地震が起きたときに必要な食べ物や日用品を事前に準備しておいてほしいです。

歴史ある南中町!!
高松公園 額神社
高松公園は、高松の歴史をしのぶことができる。額神社は、高松の歴史をしのぶことができる。

町内会の人と交流して学んだ事
町内会長
Q1 能登半島地震が起きたとき南中町はどんな状況でしたか?
A1 避難場所を分かっていない人が多く、それぞれが高い場所に集まっていた。
Q2 今後の地震対策をどう考えますか?
A2 安全確認をするために名簿を作成する。自分の命は自分で守る意識が大切。定期的な避難訓練をする。
消防団の人
Q1 能登半島地震が起きたとき、消防団は何をしていましたか?
A1 家族を避難させた後、地域でのパトロールをした。津波を見に行こうとした人がいたので道を通行止めにして、急な行けないようにした。

防災マップ作成を通じて学んだ事
町内会長と交流して学んだ事。定期的な避難訓練をしたほうがいいと思った。
消防団の人と交流して学んだ事。避難場所を分かっていない人が多く、それぞれが高い場所に集まっていた。
町内会長の提案で、町内会員の家族や地域の防災について、地域防災会が活動していることを知ることができた。

VOICE よろこ 喜びの声

チームの児童のみなさん

ぼうさい さくせい つう ちいき ひと こうりゆう ふだん
防災マップ作成を通じて地域の人との交流や普段はあまり気づかない危ない場所などを知ることができ、とてもよい経験ができました。このマップをみんなに見てもらい、地震や津波が来たときの参考にしたいです。

指導された 吉田 悠馬 さん

このような素晴らしい賞を受賞でき、驚きと同時にうれしい気持ちでいっぱいです。子どもたちも令和6年能登半島地震で被災した状況を思い出しながら、3人仲良くマップ作成に取り組めたので、大変よい経験になりました。

COMMENT 審査員からのコメント

令和6年能登半島地震の経験を踏まえ、子どもたちが、町内会長や関係者へのインタビューを通じて、丁寧にまちの防災上の課題を明確化しつつマップ化した作品であり、手作りのイラストや文章を駆使して、大変分かりやすくできている。今後は、大人も含めて、町内の多くの人を巻き込んで、地区防災計画づくりに発展させていただけるとうれしい。

POINT その他の評価ポイント

- 地元の建築物の特徴などを考慮して身の回りの危険な箇所を確認する手順をとっており、防災教育と地域の地理・歴史学習を上手く組み合わせた、教育効果の高いマップとなっている。
- 地震発生時の身の安全を図ることの重要性や、水や食料の備蓄などの必要性について理解を深めていることが分かる。また、津波や火災が発生したときの行動についても話し合い、自分の命は自分で守ることの大切さを学んでいる。
- 津波から避難する際の目安となる等高線が点線で書かれているため、避難計画を立てる際に役に立つマップとなっている。

町内会の人と交流して学んだ事

○ 町内会長

Q1 能登半島地震が起きたとき南中町はどんな状況でしたか？

A1 避難場所を分かっていない人が多くそれぞれが高い場所に集まっていた。

Q2 今後の地震対策をよしえてください。

A2 安否確認をするために名簿を作成する。自分の命は自分で守る意識が大切。定期的に避難訓練系をする。



○ 消防団の人

Q1 能登半島地震が起きたとき、消防団は何をしていましたか？

A1 家族を避難させた後、地域のパトロールをした。津波を見に行こうとした人がいたので道を通行止めにして、海へ行けないようにした。

地震が起きたら何が起る？

○ 津波

→ 高台に逃げる

○ 火事

→ 水をかける (消火栓をさがす) 消防を呼ぶ(11番)

○ 家屋の倒壊

→ ブロックベい、電柱から離れる

○ 土石くずれ

→ 山に近づかない



＜もっと安全な街にするためにお願いします！＞

- 地震が起きたときにすぐに避難できるように定期的に避難性訓練をやるほしいです。
- 安否確認をするために名簿を作りたいと町内会長さんが言っていたので、街に住んでいる人はみんなも協力してほしいです。
- 避難場所がわからない人もいると思うので、避難マップを作ってみんなにくばったり、よく集まる場所には、おいてほしいです。
- 地震が起きたときに必要な食べ物や日用品を事前に準備しておいてほしいです。





しょうぼうちょうちょうかんしょう 消防庁長官賞

学年 2~5年生
人数 19人
分野 防災

こうえきざいだんほうじん し じんかつどう
公益財団法人かわさき市民活動センター
ひがし お だ しょうがっこう
東小田小学校わくわくプラザ

ひがし お だ しょうがっこう ちょう さ たい 「東小田小学校わくわく調査隊」

もえにくい小田の町へ

①古い木造の建物 ②せまい道
③建物が密集している
（地震や火災が起きたときに大きな被害が出る可能性があります）

まち探検
①古い木造の建物 ②せまい道 ③建物が密集している
（地震や火災が起きたときに大きな被害が出る可能性があります）

防火水槽
避難所
まち探検
防災空地
防火水槽
避難所
まち探検
防災空地

防災空地とは?
空地を確保し、火事や地震などの災害時に避難するための場所です。

防災教室
わたしたちは6月5日に中津市役所の防災まちづくり推進課のみなさんにきてもらって防災教室をしました。100年前の小田の町は山と川に囲まれたまちで、火災や地震などの災害が頻りに起こっていました。その歴史を学び、防災意識を高めたいと思います。

まち探検
まち探検は、まちの危険なところや、防災意識を高めるための場所を探検することです。まち探検を通して、まちの危険なところや、防災意識を高めるための場所を探検することです。

まよと提言
小田地区は密着した住宅の七割が木造で、地震や火災に弱い構造です。また、古い木造の建物や、せまい道が多いのも、防災意識を高めるための場所を探検することです。

VOICE よろこ 喜びの声

じ どう チームの児童のみなさん

まちの成り立ちから勉強をし、自分たちの地域の弱点を知りました。まち探検をして普段気がつかない所に災害時に役立つものがたくさんあることが分かりました。学んだことを多くの人に伝えていきたいです。

し どう 指導された とみざわ のり こ 富澤 規子 さん

2度目の消防庁長官賞の入賞となり感無量です。子どもたちの強い思いが実を結びました。マップづくりを通して災害時の行動と対策、長期的な視点をもって取り組むことの大切さを学びました。ありがとうございました。

COMMENT 審査員からのコメント

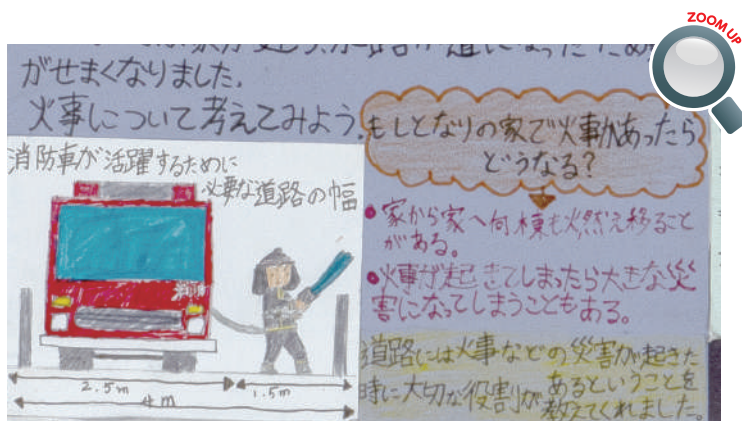
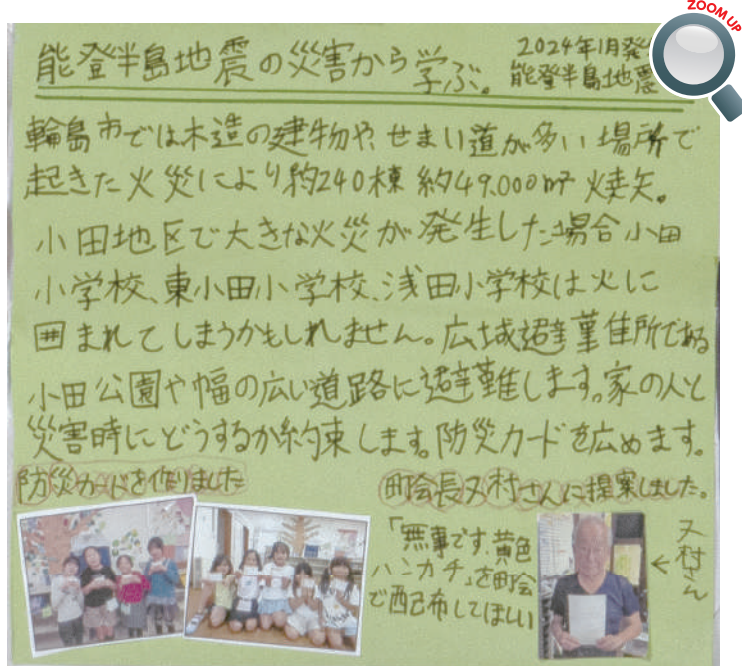
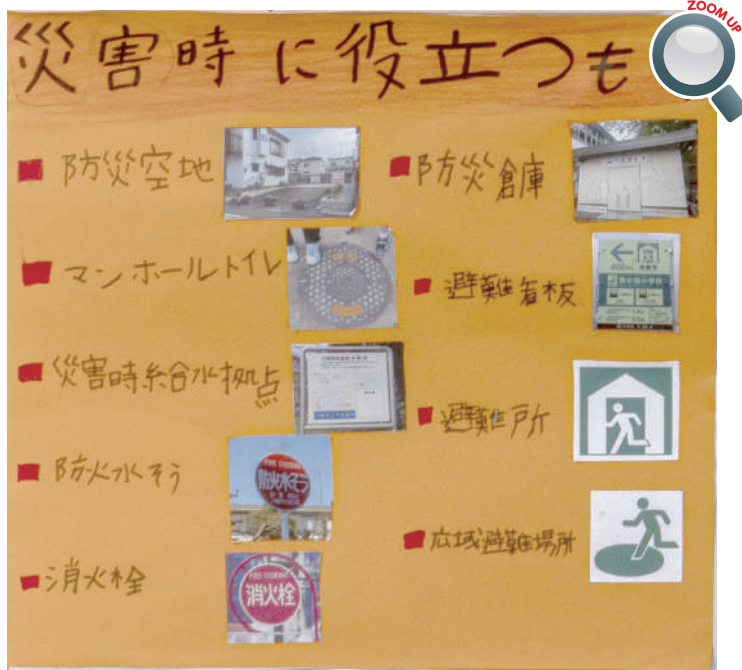
みづか きょじゅうち いき とくせい みっしゅうし がいち
 自らの居住地域の特性である密集市街地
 について もんだい いしき も ふる もくぞう たて
 問題意識を持ち、古い木造の建
 物の みっしゅう しょうぼうしゃりょう きゅうきゅう
 が密集していることや、消防車両・救急
 しゃりょう つうこう ししゅう せま みち ちず
 車両の通行に支障のある狭い道などの危
 険な箇所を調査し、写真とともに地図に
 お こ しょうかせん ぼうか
 落とし込まれている。また、消火栓や防火
 すいそう ぼうさいそう こ ひなんゆうどうかんばん ひなんじょ おう
 水槽、防災倉庫、避難誘導看板、避難所、応
 きゅうきゅうすいきよてん さいがい
 急給水拠点、マンホールトイレなど、災害
 じ やくだ せつび しせつ しら
 時に役立つ設備や施設などがよく調べら
 れた作品である。

れいわ ねん がつ ほっせい の とほんとう じしん
 令和6年1月に発生した能登半島地震の
 さいがい せっきよくてき たいおう まな
 災害からも積極的に対応を学んでおり、
 こんご ひ つづ あんぜん あんしん
 今後も引き続き安全で安心なまちづくり
 と く
 に取り組んでいただきたい。

POINT その他の評価ポイント

れいわ ねん の とほんとう じしん まな ふ
 ●令和6年能登半島地震からの学びを踏ま
 え、火災からの避難に必要な「災害・避難
 さいがい ひなん ひつよう さいがい ひなん
 カード」を作成したり、「無事です。黄色
 さくせい ぶ じ きいろ
 カード」を作成したり、「無事です。黄色
 りょう ふきゅう ちいき
 いハンカチ」の利用・普及について地域
 ちょうかいちょう ていあん
 の町会長に提案したりしている。

いえ か じ
 ●「もしとなりの家で火事があったらどう
 なる？」というように、マップを見てい
 る人が「自分ゴト」として捉えて考えら
 れるような工夫が凝らされている。





まちのぼうさいキッズ賞しょう

にほん こくない いんかいかいちようしょう
(日本ユネスコ国内委員会会長賞)

京都府

学年 4～6年生

人数 7人

分野 交通安全

きょうと ししちじょうだいさんじ どうかんあんぜん
京都市七条第三児童館安全マップづくり隊たい×

しちさんがくくしゃかいふくしきょうぎかい
七三学区社会福祉協議会

しちじょうだいさんじ どうかん しちさんがくくしゃかいふくしきょう
「七条第三児童館×七三学区社会福祉協

ぎかい ある あんぜん たい
議会 まち歩き安全マップづくり隊」



VOICE よろこ こそ 喜びの声

チームの児童のみなさん

とてもうれしいです。マップを作つくって新あらしいことや知らなしかったことをいっはっけんぱい発見いっしょしました。一緒いっしょにまち探検たんけんをした皆みなさん、ありがあとうございごいました。もすっと住すみやすいまちにおうえんしていきたいので、応援おうえんしてください。

指導しどうされた 岐美みちよし 宗つかささん

こどもたちは、道路どうろや交通こうつうの課題かだいをたはっけんくさん発見はっけんしました。「困こまっている人ひとの支ささえになすりたい、住すみやすいまちにか変ていげんえたい」と提言わた書を渡すたす姿せいちようは、成長かんしんと関心かんしんの芽生めえを感じかん、地ち域いきの福祉ふくし連携れんけいの第一だいいっ歩ぽを踏ふみ出だしました。

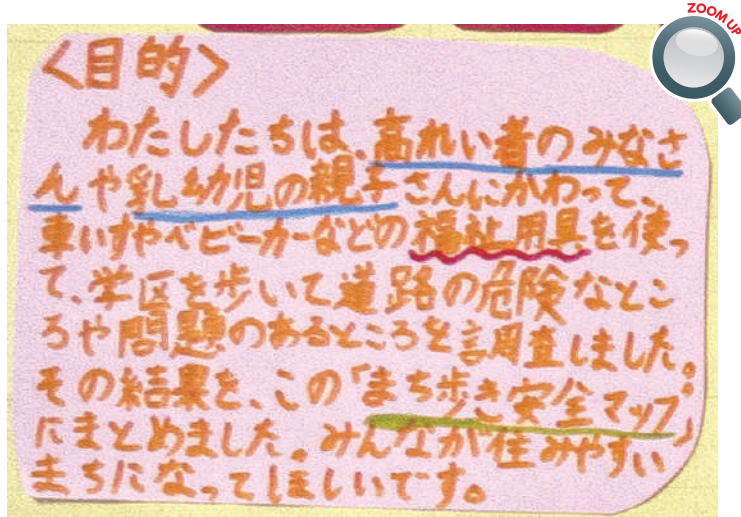
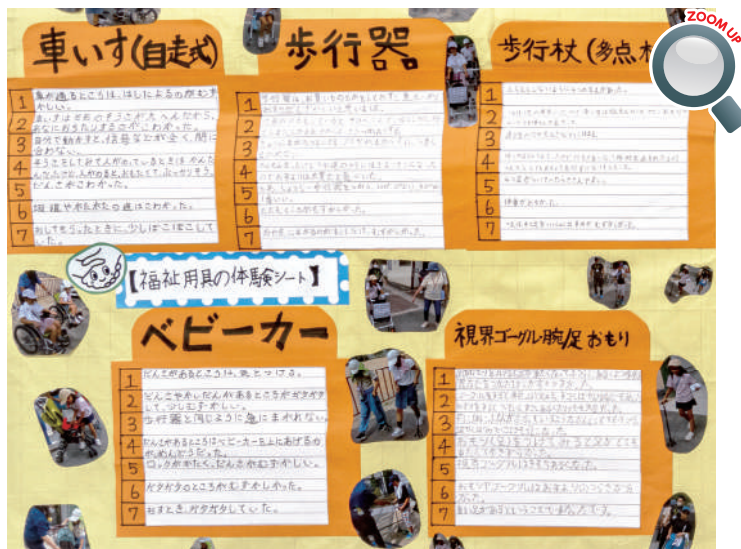
COMMENT 審査員からのコメント

本作品は、地域の行政や福祉関係団体などの協力を得て、普段の生活ではなかなか触れる機会のない福祉器具を使うことや、ベビーカーの親子連れや高齢者の気持ちに寄り添う大変貴重な体験を経て、そこから得た多くの気づきがまとめられた作品になっている。行政や関係団体への提言も作成し、直接訴えかけた経験を通じて、大人ではなくても社会を変えられる可能性があるという自信と自覚を得られたことが伝わってきた。

国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」は、「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」を目指している。多様な状況にある地域住民が快適に過ごせる包摂的なまちづくりのために、今後も積極的に社会と関わり、地域社会だけでなく世界の「チェンジャー(変革者)」となるために、学びを続けていっていただきたい。

POINT その他の評価ポイント

- 車いすやベビーカーなど、使用する器具別に課題や体験結果をまとめているほか、電柱や段差などのきめ細かい情報が「課題発見マップ」に反映されている。
- 「みんなが住みやすいまちになってほしい」という目的をもって作成することで、マップ全体を通じてその思いが伝わる作品となっている。





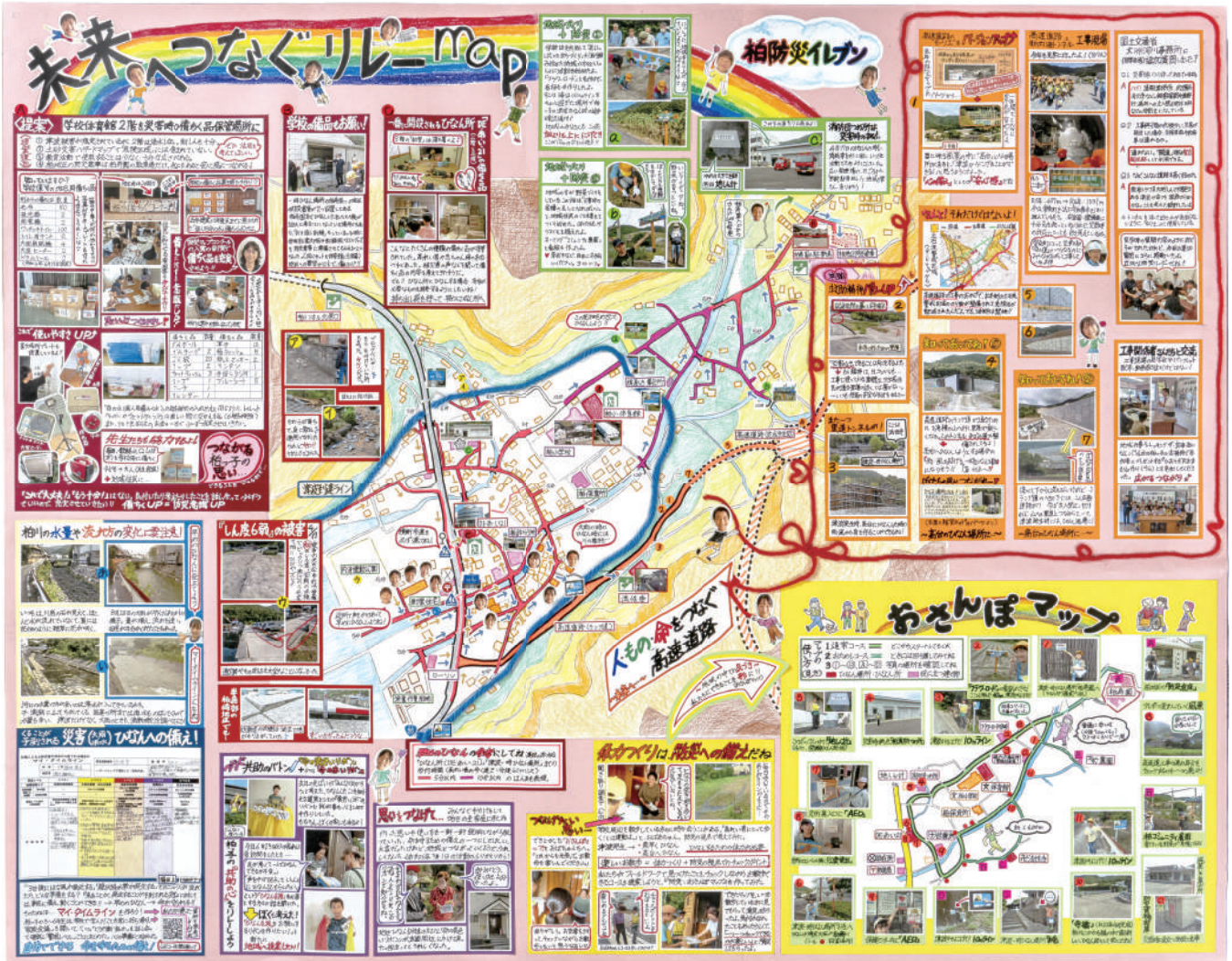
きしょうちょうちょうかんしょう 気象庁長官賞

学年 3～6年生

人数 11人

分野 防災

あいなんちょうりつかしわしょうがっこう 愛南町立柏小学校 かしわぼうさい 「柏防災イレブン」



VOICE よろこびの声

チームの児童のみなさん

さくねん しょう さん さいんとくべつしょう つづ きしょうちょうちょうかん
昨年度の「審査員特別賞」に続き「気象庁長官
賞」をいただき、チームのみなで大喜びし
ました。この活動で繋がったたくさんの方
々に感謝をしながら、この受賞の喜びをこれか
らの実践に結び付けていきたいです。

指導された 中田 勝教 さん

ちいき かがたごうじかんけいしゃ しゃかいふくしきょうぎかい みな
地域の方々、工事関係者や社会福祉協議会の皆さまのご協
力、児童の思いを活動に結び付けることができ、地域の一
員として何ができるのかを考えてきました。災害に強い地
域づくりや未来への展望が描ける児童に成長したことに喜
びを感じるとともに、今回の受賞を大変うれしく思います。

COMMENT 審査員からのコメント

「未来へつなぐリレー map」のタイトルにふさわしく、さまざまな提案がマップの中に散りばめられており、次の災害に向けて準備を進めようという姿勢が、まずすばらしいと感じる。特に昨年入賞した防災マップで提案された“黄色いリボンの話”に満足せず、さらなる向上を模索し、赤いリボンも併せて提案することや、お年寄りの体力づくりと防災視点のチェックを兼ねた「楽しいお散歩」の提案とお散歩マップの作成は、意欲的な取組みと感ぜられ、これらが選定を決めた大きな理由となった。

このマップの完成度に満足せず、みんなで地域を守るために何ができるかということ、さらに考え続けて、未来へつなぐリレーのバトンを次に渡していただければと感じる。

POINT その他の評価ポイント

- 自助、共助のソフト面での対策だけでなく、道路の建設やインフラ整備などのハード面についても学んでいることが分かる。また、「休耕田の活用」や「野菜づくり」も防災対策であることを知り、普段の暮らしを豊かにするまちづくりが防災に繋がっていることに気づくなど、防災に関する知識への理解を深めていることが分かる。
- テーマごとに背景の色分けをするなど、情報を整理することで視覚的に見やすいマップとなっている。





キッズリスクアドバイザー賞しょう

にほんそんがいほけんだいいりぎょうきょうかいしょう
(日本損害保険代理業協会賞)

大分県

学年 6年生

人数 5人

分野 防災

ポラリス児童クラブじどう 「防災6年探検隊」 ぼうさいねんたんけんたい



VOICE よろこぶこえ 喜びの声

チームの児童のみなさんじどう

僕たちは、4回目のマップづくりです。

マップを作っていて、普段気づかない危険があることがわかりました。このマップを見て、みんなが命を守るために活用してくれるとうれしいです。受賞できたことが今後の励みです。

指導された 佐野 まゆみ さんさの

作成を始めて早8年、下校後のわずかな時間を使って「海の傍に建つ学童の仲間を全員助ける」ために作りました。考えをぶつけ、認め合い「生きて帰る」ためのマップです。マップを認めてくださりありがとうございます。

COMMENT 審査員からのコメント

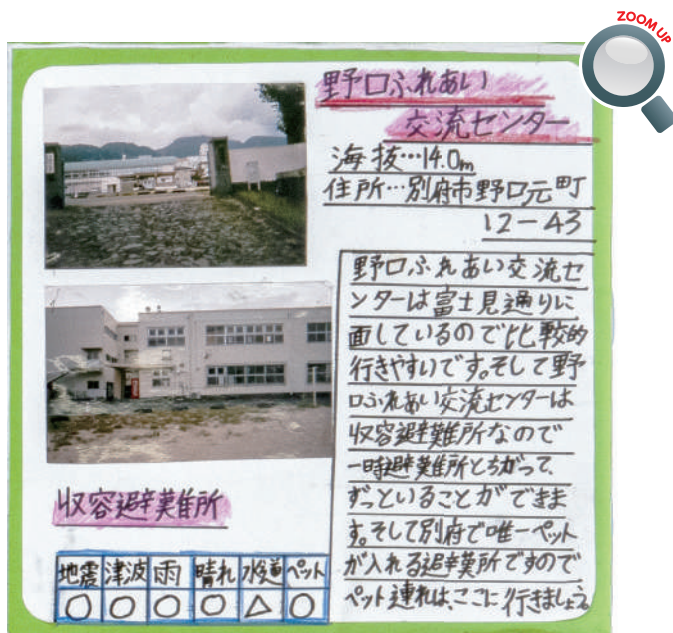
地域の特性(避難路として小さな路地や細かい道が多く、津波から逃げやすいまち)を理解したうえで、避難所・避難ビルの情報を調査しており、災害時対応の意識向上が図られたのではないかと感じた。また、長年の活動から「海拔表示板」の改善を市役所に提言し実際に改修しており、地域の安心・安全に貢献している作品である。

マップには、津波の浸水想定区域が一目で分かるような工夫や災害伝言ダイヤルの使い方が記入されているので、地域の皆さんにも共有して地域の防災に貢献していただきたい。

POINT その他の評価ポイント

● 災害の種類や気候などの条件ごとに、地域の避難所を3段階で評価し、一覧化することで、状況に応じてどの避難所が適切かについて分かりやすくまとめられている。

● 避難所を調べる中でペットを連れて逃げられる避難所が少ないことに気づき、地域で唯一ペット同伴者が避難できる場所を取り上げ、発信している。





みらい しょう
未来へのまちづくり賞
 あさひ しんぶん しゃしょう
(朝日新聞社賞)

学年 **3年生**
 人数 **35人**
 分野 **防犯・交通安全**

なかむらだいにしょうがっこうほうかごじどう
いるかクラブ(中村第二小学校放課後児童クラブ)
 たんけんたい
「いるか探検隊」

**ぼくたち・わたしたちにできること
 耳の不自由な人への思いやり**

いるか探検隊

感想・てい言

おまわりさんへ聞きました!!

相馬市役所へ聞きました!!

社会福祉協議会へ聞きました!!

VOICE よろこ こえ
喜びの声

チームの児童のみなさん

おと き こえ せいかつ たいへん
 音の聞こえない生活が大変だということをみんなに
 知ってもらいたかった。はじ むつ べんきょう
 初めて手話を勉強して難
 しかったけれどとても楽しかったです。
 たの
 みんなで協力して作ったマップが賞を取れてとても
 うれしいです。

指導された 鈴木 美保 さん

しょうかくしょう かた ちいき としよ かたがた
 聴覚障がいの方、地域のお年寄りの方々などの交
 流を通して、子どもたちに芽生えた「思いやり」を
 マップに表記したことが「未来へのまちづくり賞」と
 いう賞の受賞に繋がり、とてもうれしかったです。

COMMENT 審査員からのコメント

耳の不自由な人に話を聞き、そこから課題を掘り下げた。実際に耳栓やイヤホンをつけて、通学路の危険な場所を点検した。警察官や市役所がどのように対応しているのかを取材に行き、耳の不自由な人への生活に思いを広げている。また、「買い物に行ったときにお店で会話に困ることがあること」を知り、お店のサービスカウンターやレジに置く「お願いカード」を作成し、設置に繋がった発想力や行動力も素晴らしい。身近な交通安全の課題から始まり、ヘルプマークや、パトカーの赤色灯、デフリンピックなど、耳の不自由な人を取り巻く社会についても学びが広がった。耳の不自由な人との出会いから、好奇心や想像力で、どんどんと子どもたちの視野が広がっていくプロセスを感じられた。今年日本ではデフリンピックが開催されるので、みんなで声援を送り、さらに耳の不自由な人への理解を広げてほしい。

POINT その他の評価ポイント

- 津波の危険性がある地域であることを踏まえ、手話通訳者から簡単な挨拶だけでなく防災に関する基本的な用語を教わってもらっているなど、防災と福祉の両面で教育効果性の高いマップづくりを行ったことがうかがえる。
- 耳の不自由な方とのインタビュー内容をすざろく風にまとめ、マップを見ている人が視覚的に楽しみながら学ぶことができる工夫を凝らしている。





わがまち再発見賞

にほんさいがいきゅうえん (日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

学年 4~6年生

人数 15人

分野 防災

とめししゃかいふくしきょうぎかいとよまししよ ぼうさいたんけんたい
登米市社会福祉協議会登米支所 とよま防災探検隊

「とよま防災探検隊」



VOICE よろこ 喜びの声

チームの児童のみなさん

みんなで協力して作ったマップが賞に入り、やり遂げた達成感でいっぱいです。フィールドワークでは登米町のよい点を発見できたと同時に改善点も見つかりました。もっとよりよいまちになるきっかけとなるといいです。

指導された 桜井 良子 さん

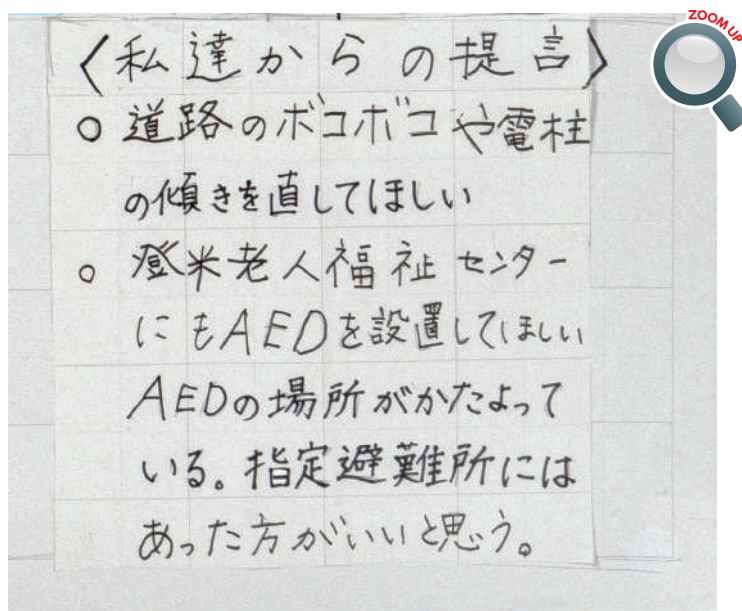
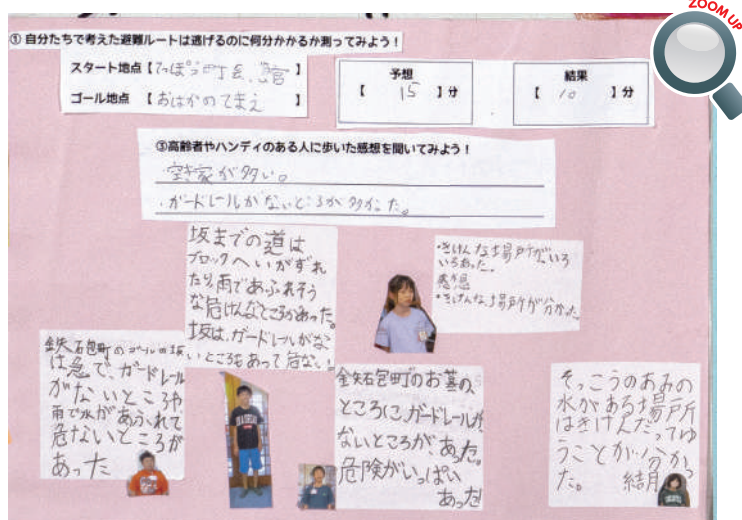
事前学習で予想を立て、フィールドワークで結果を得て、マップ制作でアウトプットをする。この流れの中で子どもたちは災害や地域づくりに対して、より“我がゴト”として考えることができました。子どもたちに拍手です。

COMMENT 審査員からのコメント

自分たちのまちの災害リスクを知るために、ハザードマップを参考に事前にワークショップを開催し、まず意見を出し合ってから、実際にフィールドワークも行い、危険箇所やAED、あるいは避難ルートなどについて、自分たちで発見していったところがとてもすばらしい。また、防災バッグを考えるにあたり防災ビンゴをしたり、高齢者やハンディをもった方々のことにも思いをめぐらせて、楽しみながらも、地域に暮らす住民が、土砂災害や洪水などからいかにしたら命が守れるかということをも、真剣に考えたりしていることが伝わってきた、とてもよい作品である。今後は、今回学んだ内容を、参加できていないお友達や地域住民などにも広げてもらえることを願っている。

POINT その他の評価ポイント

- 道路の不良箇所や空き家のブロック塀の傾きのほか、AEDが設置されていない指定避難所があることなどに気づいてAEDの設置を市役所に要望・提言しており、マップ作成をきっかけに行政に積極的な働きかけを行ったことがうかがえる。
- 土砂災害警戒区域と浸水予測区域のハザードマップを地図上に色分けして示すことで、視覚的に分かりやすいマップとなっている。





たんけんたいしょう
ぼうさい探検隊賞
 にほんそんがいほけんきょうかいしょう
(日本損害保険協会賞)

学年 1,2,4,5年生、年長

人数 7人

分野 防災

とばしあらしまこかい
鳥羽市安楽島子ども会
 あらしमतんけんたい
「安楽島キッズ探検隊」

	家の中	家の外	合計
● 聞こえた	33	19	52
● 聞こえない	13	2	15
合計	46	21	67

	水	非常食	TV	双灯充電
有	33	25	14	15
無	10	7	1	2

探検隊からの提案

- 1 防災無線の聞こえないところも取調べるべきではない
- 2 防災無線の持ち手の代わりをもう少し長くしたら、防災無線の盗難に気づくと良い
- 3 静電気で町の人をたくさん驚かしてしまいました。日本から防災の訓練ができるといいですね
- 4 震や津波で電気が止まれば、防災無線が聞こえなくなるので、事前に防災無線に電池を交換していただくようお願いしたいです
- 5 日頃の備えで町を歩いていて、町内防災無線に電池がなくなると大変です。事前に防災無線の電池を交換していただくようお願いしたいです

地震津波から命を守る

VOICE よろこびのこえ

じどう
チームの児童のみなさん

まち中を歩いて聞き取りするのは大変だったけれど、みんなで協力してマップができました。まちの皆さんとの会話は楽しかったし、やさしくて協力してくれました。防災のことを考えるのは大事だと思うので続けていきたいです。

しどう はまぐち けいじ
指導された 濱口 敬司 さん

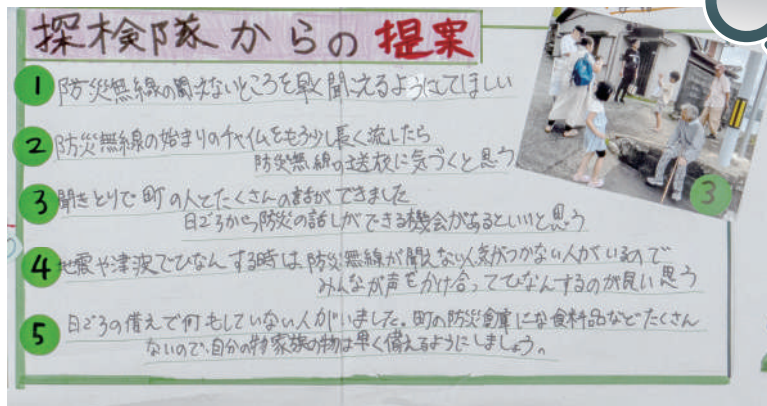
ぼうさいむせんせいびき
 防災無線が整備されて聞こえやすくなったと聞き、ほんとうに?という、子どもたちの疑問から今回調査することになりました。これからも子どもたちの思いを大切に、ぼうさい探検を続けていきます。この度は、ありがとうございました。

COMMENT 審査員からのコメント

地域に密着し、防災無線にフォーカスした、テーマ性の高い作品。2006年のマップコンテストで入賞を果たした「防災無線の聞き取りやすさ」を題材に、近年防災無線が再整備されたことを踏まえて、その効果を定量的に再検証するというアプローチに独自性がある。前回のマップとレイアウトなどを統一しているなど、比較可能性にも配慮が感じられる。マップ制作に際しては、自治体に協力を求め、市長の声、AI女性の声、AI男性の声の聞こえやすさを比較したり、色別シールによって聞こえにくい場所を地図上に特定したりすることで対策に繋げやすくしている。提案では「始まりのチャムを長くすると気づきやすくなる」という子ども独自の視点が入っていることも興味深い。

POINT その他の評価ポイント

- 調査を実施する中での気づきと提案の番号をリンクさせることで、どのようなことに気づき、そして提案にいたったか、一目で分かるようになっている。
- 聞き取り調査を通じて、防災無線の放送に気づかなかった人はテレビを見ていた人が多いということを発見し、地域で声を掛け合うことの重要性に気づき、提案している。





せんだいし おおの だ じどうかん
仙台市大野田児童館「チーム『おおのだー』」



POINT 評価されたポイント

- 転出入者が多いことから自治会や子ども会を利用する人々が減少し、地域連携・交流の希薄化が進んでいるという地域特性を踏まえて、子どもたちの安心安全をテーマにしたマップ作成を行っている。
- 子どもたちが安全に通行できる道路を増やすための工夫として、子どもたちのデザインによる「子ども110番」ステッカー作成を提案したり、スポーツやイベントを通じて実際に「子ども110番」への登録を働きかけたりするなど、マップを作成するにあたり、具体的に地域社会と連携したことがうかがえる。

VOICE 喜びの声

チームの児童のみなさん

すばらしい賞をいただき、ありがとうございます。自分たちの住む地域の安全を、自分たちの手で増やしたいという想いで、作成しました。子ども110番の家を増やしていけるよう、地域の人に伝えていきたいと思ひます。

指導された 佐藤 美穂さん

チームで作成したマップが評価されて大変うれしく思ひます。子どもたちの視点で地域の安全・危険箇所を見つけることができました。このマップを地域の方たちにも見ていただき、防犯意識を高めていけたらと思ひます。



いのまき しりつまんごくうらしょうがっこう まんごくうらしょうがっこう ねんせい
石巻市立万石浦小学校「万石浦小学校4年生」



POINT 評価されたポイント

- 万石浦湾に面した万石浦地区は、東日本大震災で津波による被害を経験していることから、津波のメカニズムや危険性、避難経路や避難所となる学校の備品などを細かくまとめており、防災知識の普及・啓発に役立つマップとなっている。また、避難行動や避難生活に支障が生じやすい高齢者の目線も取り込んで作成されており、災害弱者の救済の観点で有用である。
- 本マップの作成をきっかけに、実際に地域住民や学校関係者、防災士へのインタビューを行って自助の重要性を学んだほか、観光客や外国人への配慮の必要性についても認識したことがうかがえる。

VOICE 喜びの声

チームの児童のみなさん

一生懸命作ったマップが入賞できてうれしいです。まち歩きを通して、身近な所にも危険があることがわかりました。このマップをたくさんの人に見てもらい、万石浦の良さを知ってもらいたいです。

指導された 千葉 彩有花さん

すばらしい賞をいただきありがとうございます。防災マップづくりを通して、子どもたちの防災への意識を高めることができました。今回の経験を活かし、「自分の命は自分で守れる」子どもたちに育ててほしいと思ひます。

学年 3年生 人数 31人 分野 防災



ふくしまけんそう ま し か わらまち じ どう
福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊
 たんけんたい
「すみれ・みつばちぼうさい探検隊」

POINT ひょうか 評価されたポイント

- 熊に関するニュースを見て自分たちが暮らす地域の現状に関心をもったことをきっかけに、子どもたちの目線で動物との関わり方を探究したほか、野生動物と人間が共存できるような提言を盛り込んだマップとなっている。
- 関係者へのヒアリングや調査から、太陽光発電パネルの増加と高速道路の開通による山の樹木の減少が野生動物の生態に変化を与えてしまっていることを知り、自然・環境保護をどのように進めていくか、関心が高まったことがうかがえる。

VOICE よろこ 喜びの声

じ どう チームの児童のみなさん

みんなでがんばって作ったマップが賞に選ばれてとてもうれしかったです。クマキットを借りて本物の熊の毛皮や骨を触ってびっくりしたけど勉強になりました。このマップを地域の皆さんに見て触ってもらいたいです。



し どう 指導された 藤巻 真理 さん

今回のマップは子どもたちの要求を組み入れ、色々な体験をさせてマップへと導くことに大変苦労しましたが、実を結び大変うれしく思います。すばらしい賞をいただきありがとうございます。

学年 3年生 人数 6人 分野 交通安全



こうえきざいだんほうじん し みんかつどう わたり だ しょうがっこう
公益財団法人かわさき市民活動センター 渡田小学校わくわくプラザ
「チームにこ😊サン⚡」

POINT ひょうか 評価されたポイント

- 人口や交通量が増えたことに伴って増加した交通事故の防止を目的としたマップとなっており、実際の事故発生場所や危険・安全な場所が丁寧にまとめられている。
- 警察官と一緒にまちを探検し、危険箇所の確認などを行った結果を踏まえ、子どもにも分かりやすい標識の設置や信号機の増設を要望・提言している。また、マップを作成した子どもたちが低学年の子どもたちに危険な場所を教えたり、地域の「老人いこいの家」にマップを披露しに行ったりしており、教育効果性の高さがうかがえる。

VOICE よろこ 喜びの声

じ どう チームの児童のみなさん

今回初めての応募で賞をもらえて、すごくうれしいです！このマップが地域の人たちにも広まって、みんなの役に立てたらうれしいです。

し どう 指導された 吉野 華代 さん

子どもたちの挑戦する気持ちを大切に、夏休みの貴重な遊び時間を毎日少しずつ削って作成に取り組みました。子どもたちにとって、交通安全という一番身近な人災の啓発活動を表彰していただき、大変うれしく感じております。





いわくに しりつかわかみしょうがっこう かわかみ ぼうけんたい
岩国市立川上小学校「川上ワクワク冒険隊」



POINT 評価されたポイント

- 山間部特有の土砂災害や河川氾濫のリスクという地域の特徴、上流・下流の水の流れ方の違い、山側と道路側の水深の違いを発見するなど、子どもの視点で通学路上の危険な場所をよく調べている。
- まち探検のほかに、自治体が公表しているハザードマップを学習することで、洪水や土砂により被害を受ける箇所が多いことに新たに気づいたり、避難の重要性を再確認したりするなど、学びを深めていることが分かる。また、作成したマップを地域のコミュニティルームに掲示するなど、啓発活動にも取り組んだ様子が見え、地域住民の防災力向上に貢献している。

VOICE よろこ 喜びの声

チームの児童のみなさん

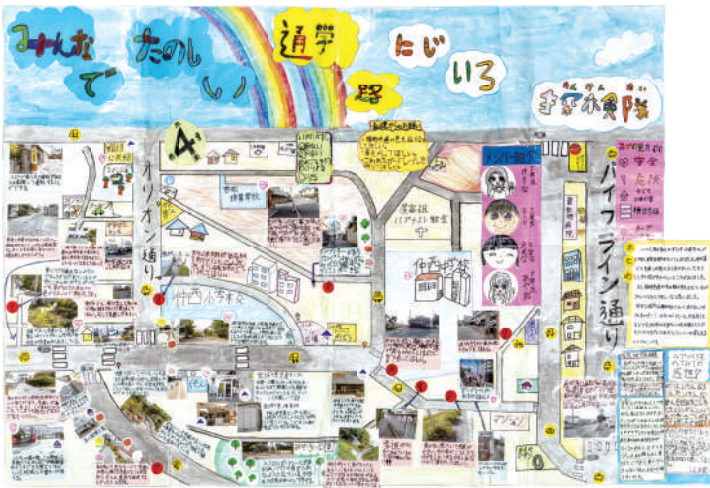
入賞できてとてもうれしかったです。この防災マップづくりで学んだことを活かして、もし実際に災害が起こったとき、みんなで協力して助け合えるようにがんばりたいです。

指導された 窪田 寛晃 さん

子どもたちが賞をもらって喜んでいる姿を見て、大変うれしく思いました。地域を実際に見て回り、危険な場所や安全な場所を、だれが見ても分かるように工夫して楽しみながら懸命に取り組んだ子どもたちを誇りに思います。



おきなわけんうらそえしりつみやぎ がはらじ とう ぼうけんたい
沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター「にじいろ探検隊」



POINT 評価されたポイント

- 写真や地図のコメントを「危険」と「安全」で色分けしており、通学路の状況や地域の特徴がマップに分かりやすく反映されている。また、横断歩道の塗り直しや破損したガードレールの修理を要望するなど、子ども目線での細やかな気づきや提言が盛り込まれている。
- 学年が離れたメンバーが協力し、丁寧なまちを観察して作品を取りまとめた努力が見え、縦割り学習の好事例として評価できる。

VOICE よろこ 喜びの声

チームの児童のみなさん

みんなで通学路探検をして写真を撮ったり、マップを書いたりしてとても楽しかったです。安全や危険な理由を分かりやすくまとめて一生懸命作ったマップが特別賞に選ばれたのでとてもうれしいです。

指導された 大城 弓子 さん

マップづくりを通して高学年児童が低学年児童にアドバイスするなど有意義な異学年交流の場となり、子どもたちの安全への意識が高まりました。また、素晴らしい賞をいただくことで学校や地域に子どもたちの活動が広がられることをうれしく思います。

学年 4,5年生 人数 9人 分野 防災・交通安全



おきなわけんと みぐくし じ どう ないたんけんたい
沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ「なないろ9探検隊」



POINT ひょうか 評価されたポイント

- 海と山と河川が同居する地域での避難経路の安全性や河川改修の重要性など、地域を注意深く観察し、話し合った結果についてまとめられている。
- 令和6年4月3日の津波警報発表時、地域ではどのようなことが起こったかなどのインタビュー結果が豊富に取り込まれており、インタビュー対象者の示唆・教訓や被災経験を読者に伝え、地域の防災力を高めることに貢献し、地域の財産となるような有用なマップとなっている。

VOICE よろこ こえ 喜びの声

チームの児童のみなさん

じゆしやう じ じゆしやう じ
 受賞したと聞いてとてもうれしかったです。探検をしながら地域の特徴や危険を細かく探しました。自分と大切な人の命を災害から守るためにも、見やすいマップと伝わりやすい言葉になるようにたくさんの方の意見を出し合って取り組みました。このマップが大切な人の命を守ることに繋がってほしいです。

し どう ぎんじやう ゆう き
指導された 金城 有希さん

ち い き か た が た きんじやう ゆう き なか こ
 地域の方々のご協力の中、子どもたちは多くの情報を学び、実際に体験することで防災についての理解を深めていきました。地域探検を通して身近な安全と危険を感じ取り、命を守る行動の仕方を考え、マップにまとめ、伝えることでクラブ全体の防災意識の向上と学習意欲の高まりにも繋がりました。子どもたちの一生懸命ながんばりが受賞という素晴らしい結果に繋がりが大変うれしく思います。

学年 3年生 人数 5人 分野 防犯・交通安全



こくらっこガールズ「こくらっこガールズ」



POINT ひょうか 評価されたポイント

- 地域の防犯・交通安全の向上にむけて、公園トイレの照明設置や通学路の除草対策など、具体的な危険性を示して市役所に改善を要望した結果、子どもたちの意見を取り入れた検討が開始され、子どもたちの行動が成果に結びついた好取組み事例である。
- 公園の環境について、周囲から見えやすいか、助けが必要な際に呼ぶことができるかなど、子どもたち目線で調べて感じたことをしっかり言語化してまとめたマップになっている。

VOICE よろこ こえ 喜びの声

チームの児童のみなさん

とてもうれしいです。マップづくりで、危険も助けを求められる所も身近にたくさんあると分かりました。公園がみんなの安心できる居場所になってほしいです。マップを見て、こくらっ子安全や命が守れるといいです。

し どう し も じ け い こ
指導された 下地 桂子さん

こ じ しん いちしん あんしん あんぜん しゃかい じつげん む じじつ
 子ども自身も一市民として、安心・安全な社会の実現に向けて事実と問題点を把握し、正しい方法で伝えることができれば、大人や社会を動かす原動力になれるんだという実感を得ることができた貴重な機会となりました。

デジタルマップ特別賞



「デジタルマップ特別賞」とは

日本損害保険協会が無償で貸し出している「まち探検アプリ」搭載のタブレット端末を、児童が使って探検・マップづくりした作品のなかから、審査によって選出した賞です。

「まち探検アプリ」とは

ふだん歩く通学路や避難場所への経路など、道路上の危険な所・安全な所を調べ、タブレットに写真やアイコンをワンタッチで登録できるほか、タブレットには「事前学習の手引き」が搭載されており、簡単に学習ができるようになっています。

マップ作成手順

完成!!

事前学習

活動エリアの登録や、事前学習をしよう

フィールドワーク

まち探検を行い、写真撮影などで、ポイント登録をしよう

マップ編集

登録したポイントの確認・編集を行い、マップを完成しよう

発表会

発表会モードを使用し、発表会を行おう



とよらちようりつとよらしょうがっこう はんとよらあんぜんだいいち
豊浦町立豊浦小学校「1班豊浦安全第一チーム」

学年 4年生 人数 4人 分野 交通安全



POINT 評価されたポイント

- 自動車運転者、幼稚園児、高齢者や目の不自由な人など、さまざまな道路利用者に配慮した視点を取り入れられており、運転者・歩行者の両面からまちを調べたことがうかがえる。また、観光地や雪国という地域性を考慮した視点も盛り込まれており、地域の交通安全の課題を浮き彫りにしている。
- インタビュー調査で過去の交通事故を知り、車がスピードを出しやすい道路について、横断歩道か信号機を設置するよう、町役場に要望・提言している。また、作成したマップが町役場のホームページに掲載され、広報的な効果を得ることができている。

VOICE 喜びの声

チームの児童のみなさん

受賞を知ったとき、とても驚きました。タブレットは使いやすく、楽しくまとめることができました。去年の総合で学習したことを思い出して、豊浦町の人だけでなく、観光客のことも考えてマップを作りました。

指導された 長田 真希子 さん

豊浦町役場の協力の下、「命の安心・安全」をテーマに取り組んできました。フィールドワークでは消防士、警察官、交通指導員などと出会い、子どもたちは地域の安全を守ってくれている人が多くいることを実感できました。



たんけんたい たんけんたい
ミラキュラス探検隊「ミラキュラス探検隊」

学年 3年生

人数 2人

分野 防災・交通安全

ミラキュラス探検隊 ぼうさい探検隊マップコンクール



ミラキュラス探検隊 ぼうさい探検隊マップコンクール



ミラキュラス探検隊 ぼうさい探検隊マップコンクール



ミラキュラス探検隊 ぼうさい探検隊マップコンクール



ミラキュラス探検隊 ぼうさい探検隊マップコンクール

POINT ひょうか 評価されたポイント

- 都市型水害の危険性に着目した地域性のあるテーマとなっている。全国各地の水害の教訓から中小河川の氾濫の危険性を感じ、通学路付近の川の水位や橋の状況などを観察することで、防災に対する意識を高めたことがわかる。
- マップづくりを通じて、子どもたちの遊び場であるグラウンドに調整池の役目があることを知り、そのしくみや効果についての理解を深めたことがわかる。また、子ども目線で、川のフェンスの有無により転落する危険性や増水時の危険性を想像するとともに、坂道でスピードを出す自転車への注意喚起を行っている。

VOICE よろこ 喜びの声

しどう チームの児童のみなさん

いえ ちか がねい こうえん はじり しやくじ いがわ
家の近くの小金井公園から始まる石神井川が、もしあふれたとき、どんなしくみになっているのかについて調べました。色々なことを学べてよかったです。また、受賞できてとてもうれしいです。ありがとうございました。

しどう 指導された 三浦 起世光 さん

なつやす じ ゆうけんきゅう ちやうせい ち はつぱう こんかい はつてん きんりんじゆうたくがい すいがいたいさく まな
夏休みの自由研究で調整池について発表し、今回はさらに発展して近隣住宅街における水害対策について学びました。毎年マップコンクールに参加することで、防災・交通安全に対する意識が明らかに向上しています。

学年 1、2、4、5年生、年長、中学1年生

人数 8人

分野 防災



かながわけんたい だん
ガールスカウト神奈川第53団「GS KANAGAWA 53」

GS KANAGAWA 53 ぼうさい探検隊マップコンクール



GS KANAGAWA 53 ぼうさい探検隊マップコンクール



GS KANAGAWA 53 ぼうさい探検隊マップコンクール

GS KANAGAWA 53 ぼうさい探検隊マップコンクール



GS KANAGAWA 53 ぼうさい探検隊マップコンクール



GS KANAGAWA 53 ぼうさい探検隊マップコンクール

POINT ひょうか 評価されたポイント

- 「もし大地震がおきたら」と子どもたちがイメージを膨らませながら、地下街なども含めて詳しくまち探検を行い、都会ならではの構造物や落下物などの危険性、災害時の課題を発見している。
- 令和6年能登半島地震の被害状況や市民防災センターでの体験を通じて自助の重要性を学び、災害から命を守ることを最優先に考えた行動や思いがマップから伝わってくる。また、土地の高低差に着目し、地震災害以外に水害リスクがあることにも気づいており、防災学習の理解を深めている様子が見える。

VOICE よろこ 喜びの声

しどう チームの児童のみなさん

よこはまえき かいばつ
横浜駅は海拔がマイナスであることに驚いた点など、気づきを分かりやすく写真に撮り文章にまとめることが大変でしたが、賞をいただけてとてもうれしいです。日頃から防災を気にして、まちを見つめるなど、今後に活かしたいです。

しどう 指導された 仲戸川 美雪 さん

デジタルマップは1枚の写真とポイントを押さえた文章で表現することが求められるため、特に初めて取り組む子どもたちは試行錯誤でした。それだけ、今回の受賞は喜びもひとしおかと思えます。ありがとうございました。



キッズステーション NARUTO「あんぜんキッズたい」



POINT 評価されたポイント

- 低学年の子どもたちが小学校から学童施設までの経路をまち探検し、来年度の新1年生に対して、通学路の安全および危険な箇所を伝えているマップである。また、道路のヒビ割れや、転倒の危険性がある場所など、低学年ならではの気づきが、高学年の児童にも意識の変化を与えており、学習効果の高い活動となっている。
- 警察官から、過去に起きた事故の話や横断歩道の重要性、歩行の仕方などを聞くことで、より一層、交通安全に対する理解が深まったことがうかがえる。

VOICE よろこ 喜びの声

チームの児童のみなさん

“あんぜんキッズたい”受賞してうれしいです!!これから入って来る新1年生にも交通ルール・マナーを守る大切さを伝えて安全にキッズステーションに帰って来て欲しいです。地域の人も交通安全に気を付けて事故のないまちにしたいです。

指導された 西上 知子 さん

今回の交通安全マップづくりに際して改めて子どもたちの下校時の大変さを知ることができました。身の回りの危険なこと、変化していることなどに気を配り、感じ、動いて改善できる力を育てていきたいです。ありがとうございました。



うわじましりつゆ すしやうがっこう ばんしやう 宇和島市立遊子小学校「番匠かめチーム」



POINT 評価されたポイント

- 南海トラフ地震に備えて、津波発生時の避難経路や避難場所、避難標識の確認を行うとともに、災害時に役立つ備蓄品や救助資機材などを丹念に調べており、防災に関する知識を深めた様子がかげえる。また、市の事前復興計画を話し合う場で、作成したマップを提示するなど、積極的に地域の安全性向上に働きかけている。
- 海岸線と裏山が接近している地域特性をよく理解し、地震と同じ時に発生する可能性がある土砂災害や道路の寸断など、津波被害以外の危険性にも着目したうえで、避難経路や避難場所自体の安全性について課題を挙げている。

VOICE よろこ 喜びの声

チームの児童のみなさん

住んでいる所でも知らないことがたくさんあって、見て回りながらまとめるのは大変だったけれど楽しかったです。このマップを使って、災害に強い遊子になるようにみんなで問題点を話し合っ、良くしていけるといいなと思います。

指導された 西原 睦美 さん

子どもたちは、タブレット端末の活用で発見したことを簡単にマップに反映でき、保護者の方とともに意欲的に活動に取り組むことができました。今後も防災について地域全体で考えていけるよう、行動していきたいと思っています。ありがとうございました。

応募状況

表中の色文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・デジタルマップ特別賞5作品・佳作60作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
北海道	18	83	316	いけだキッズ/チームわか/ともえキッズ/旭川とうこうたんけん隊/光野キッズ/高台小学校ぼうさい探検隊 Aチーム/太小探検隊/柏木ぼうさいガールズ/釧路市立鳥取小学校/札幌市立二条小学校/札幌市立伏古小学校/函館市立えさん小学校/函館市立北昭和小学校/豊浦町立豊浦小学校/北海道奥尻町立青苗小学校/利尻小学校 3・4年生/特定非営利活動法人 子ども支援ホーム 学童保育じゃんぶ中道クラブ/札幌厚別区少年消防クラブ協議会
秋田	3	6	35	湯沢探検隊/秋田県能代市立第五小学校/秋田市立岩見三内小学校
青森	5	30	156	むつ市立大畑小学校/青森県八戸市立白銀南小学校/青森県八戸市立田面木小学校/一般財団法人 医療と育成のための研究所清明会 西部児童センター/弘前市指定管理 一般財団法人 医療と育成のための研究所清明会 岩木児童センター
岩手	6	9	72	めいりこ探検隊/ひなたおうが探索/西青山探検隊/紫波町立西の杜小学校/新田1区子供会/土橋子供会
宮城	11	29	195	遠藤探検隊/増田探検隊/たけくまパトロール隊/えにまる平和探検隊/石巻市立大街道小学校/石巻市立万石浦小学校/仙台市立岡田小学校/宮城県仙台市立郡山小学校/仙台市立東二番丁小学校/登米市社会福祉協議会登米支所とよま防災探検隊/仙台市大野田児童館
山形	5	15	73	萩野フルスイングス/フルーツタウンぼうさい探検隊/興譲キッズ/酒田市立浜田小学校/天童市立成生小学校
福島	7	7	103	鶴見坦防災探検隊/かのかんとちなの探検/おおたけ探検隊/田村市立船引南小学校/福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊/いるかクラブ(中村第二小学校放課後児童クラブ)/西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ
茨城	5	5	68	せんぱキッズ/高松小学校 ながす探検隊/安全安心捜索隊/野木崎地区探検隊/ Kids Creation Afterschool
栃木	5	5	10	かいるる/日光・福地きょうだい/すずめ探検隊/江田探検隊/スマイルキッズ
群馬	5	5	24	Tフォース Jr.ソフトテニスラボ/緑町探検隊/上間仁田子ども会/鷲宮子ども会/中野谷子ども会
埼玉	7	49	191	ボーイスカウトさいたま104団カブ隊/羽生チーム/北本探検隊/加須チーム/なぐりっ子クラブ/熊谷市立奈良小学校/埼玉県川口市立新郷小学校
千葉	16	89	536	ガールスカウト千葉県第100団/ガールスカウト千葉県第20団ジュニア部門/畑沢キッズ/チーム桜/習志野探検隊2024/千葉県長生郡長生村立八積小学校/千葉県山武市立大富小学校/千葉県山武市立日向小学校/千葉県印西市立大森小学校/千葉県長生郡長生村立一松小学校/栄町立安食小学校/柏市立田中北小学校/千葉県長生郡一宮町立一宮小学校/柏市立高柳小学校/千葉県松戸市立新松戸西小学校/習志野市立袖ヶ浦西小学校
東京	26	189	1005	ミラキュラス探検隊/坂下キッズ/むさしの冒険隊/布田6丁目探検隊/三浦バトルシップブラザーズとその仲間たち/真空拳キッズ/いとこと探検隊/南二ボーイズ/東京都江戸川区立鎌田小学校/東京都台東区立田原小学校/国分寺市立第十小学校/東京都板橋区立高島第五小学校/東京都中野区立塔山小学校/豊島区立長崎小学校/東京都大田区立馬込第二小学校/東京都足立区立伊興小学校/府中市立小柳小学校/清瀬市立清瀬第七小学校/東京都日野市立平山小学校/東京都東村山市立久米川東小学校/東京都小平市立小平第十一小学校/台東区立池之端児童館/保塚町町会子供会/台東区立千束児童館/港区立赤坂子ども中高生プラザ『なんでーも』/北多摩西部消防少年団
神奈川	18	26	180	ボーイスカウト横浜116団カブスカウト隊/ガールスカウト神奈川県第53団/栢山キッズ/竹脇家/深沢キッズ/あおば探検隊/金田ぼうさい探検隊2024/逗子市立池子小学校/公益財団法人かわさき市民活動センター 三田小学校わくわくプラザ/公益財団法人かわさき市民活動センター 三田こども文化センター/古川小学校わくわくプラザ/公益財団法人かわさき市民活動センター 東小倉小学校わくわくプラザ/下間小学校わくわくプラザ/角田子供会/東柿生わくわくキャラバン/公益財団法人藤沢市みらい創造財団 青少年事業課 辻堂青少年会館/公益財団法人かわさき市民活動センター 渡田小学校わくわくプラザ/公益財団法人かわさき市民活動センター 東小田小学校わくわくプラザ
新潟	5	12	56	戦国武将探検隊/佐野探検隊/長谷川兄妹/村上市立瀬波小学校/坂井輪中学校区青少年育成協議会
富山	4	9	32	西部キッズ/ Fourキッズ/のん・まな探検隊/富山県砺波市立庄東小学校

応募状況

表中の色文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・デジタルマップ特別賞5作品・佳作60作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
石川	42	45	315	田中探検隊/西南部探検隊/珠洲市立大谷小中学校/カメラクラブ/かほく市子ども会 宇ノ気支部 狩鹿野子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 七窪子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 横山子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 宇気子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 大崎子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 上田名子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 本町子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 向野子ども会/かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 外日角子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 はまなす子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 白百合子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 青空子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 若草子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 遠塚ひばり子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 松浜みどり子ども会/かほく市子ども会 七塚支部 木津よつば子ども会/かほく市子ども会 高松支部 瀬戸町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 双葉子ども会/かほく市子ども会 高松支部 長柄町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 旭町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 東町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 三北子ども会/かほく市子ども会 高松支部 元町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 古宮町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 南新町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 六流子ども会/かほく市子ども会 高松支部 岸川町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 ニツ屋子ども会/かほく市子ども会 高松支部 夏栗子ども会/かほく市子ども会 高松支部 南中町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会/かほく市子ども会 高松支部 学園台子ども会/かほく市子ども会 高松支部 上伊丹町子ども会/かほく市子ども会 高松支部 下桜子ども会/社会福祉法人 愛里巣福祉会 アリスこどもの国/社会福祉法人 愛里巣福祉会 放課後児童クラブ つばきクラブ/社会福祉法人 愛里巣福祉会 児童クラブ アクティ 8
福井	7	9	92	ボーイスカウト武生第5団カブスカウト隊/中野キッズ!/今立ミニバスケ女子キッズ/円山キッズ探検隊/福井市立日新小学校 かしのみ隊/福井市羽生小学校/小浜市立今富小学校
山梨	5	18	123	ボーイスカウト富士吉田第1団カブ隊/小室探検隊/スノーボール君/山梨 YMCA チャイルドケア/ショリッペ
長野	6	8	22	たかぎ村ぼうさい探検隊/フジカーぼうさい探検隊/寿台ぼうさい探検隊/こども防災会議いなりやま/桜桃兄弟探検隊/長地交通安全隊
岐阜	6	40	187	ぎふ・とみか探検隊/せきひろみ探検隊/岐阜県高山市立東小学校防災クラブ/岐阜県可児市立広見小学校/岐阜県安八郡神戸町立下宮小学校/滝呂地域力向上実行委員会
静岡	7	13	54	ガールスカウト静岡県第34団/ガールスカウト静岡県第24団/南沼上探検隊/吉田安全知らせ隊/やどん探検隊/静岡市立清水浜田小学校/池小児童クラブ サニーサイド
愛知	16	69	298	日本ボーイスカウト愛知連盟名古屋第31団/ボーイスカウト名古屋第11団カブスカウト隊/藪田パトロール隊/大森なかよしグループ/なぎさ探検隊/姫島探検隊/竹山探検隊/うどんこキッズ/CSR探検隊/個性〇〇探検隊/愛知県西尾市立室場小学校/豊橋市立羽根井小学校 6年生/豊橋市立野依小学校/豊橋市立松葉小学校/愛知県豊田市立足助小学校/正木 KIDS FIRE GUARD
三重	10	38	145	福田キッズ/カブトムシ/レンセン探検隊/多度探検隊/三重県四日市市立八郷西小学校/羽津地区まちづくり推進協議会/鳥羽市安楽島子ども会/鳥羽市あらって放課後子ども教室/鳥羽市かもっこ放課後子ども教室/にじいろクラブ
滋賀	6	12	30	すず探検隊/ひらたっこ/わにぼうさい探検隊/Mkids彦根探検隊2024/滋賀県甲賀市立甲南第三小学校4年生/滋賀県東近江市立蒲生東小学校
京都	4	4	16	朱八クラブ/ももキッズ/京都朱六キッズ/京都市七条第三児童館安全マップつくり隊×七三学区社会福祉協議会
大阪	15	132	582	ガールスカウト大阪54団ジュニア/ボーイスカウト大阪連盟きたおおさか地区交野3団カブ隊/大池探検隊/大道/こどもの本気見せたら会/ことぶき探検隊/堺市立英彰小学校/高槻市立安岡寺小学校/大阪府大阪市立東小橋小学校/堺市立三原台小学校/堺市立新湊小学校/高槻市立津之江小学校/泉南市立一丘小学校/大阪府大阪市立城北小学校/高槻市立奥坂小学校
兵庫	12	46	164	モリゲキッズ/潮見台町探検隊/なつ/リベロ/井手家/みやっこ探検隊/雲中たんけんたい/大社 SC/神戸市立摩耶小学校/神戸市立西舞子小学校/加東市立三草小学校/有野台児童館
奈良	4	5	20	SN姉妹/チームいっちゃん/斑鳩町ホリデイ学園/天理市 井戸堂第1学童保育所
和歌山	10	48	272	有田真鳥キッズ/和歌山市立福島小学校/橋本市立清水小学校/和歌山県新宮市立三輪崎小学校 4年生/白浜第一小学校/和歌山県有田郡広川町立広小小学校/和歌山市立東山東小学校/和歌山県有田郡有田川町立八幡小学校/有田川町立御霊小学校/絆キッズ

小学生だけでなく、さまざまな年齢層の方々が主体となって、「参考作品」としてこの活動に参加されています。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
鳥取	3	3	6	プリンセスキッズ/太陽探検隊/チームはわい
島根	4	5	9	ガネっ子チャンネル/高津ぼうさい探検隊/ますだぼうさい探検隊/シオこは探検隊
岡山	6	18	114	西大寺探検隊/榎ヶ原安全探検隊/田井地域探検隊/矢掛町立中川小学校/YMCAせとうち グローバルアフタースクール/地域みんなで学防災プロジェクト
広島	7	52	176	ボーイスカウト広島県連盟安佐第6団カブ隊/チーム中溝/チーム貴船/広島市防災士ネットワーク/藤の木小学校/広島市立牛田新町小学校/広島県呉市立港町小学校
山口	10	35	147	キッズ探偵団II/おごおり探検隊/大倉キッズ探検隊/大西キッズ/チーム Y & K & R/岩国市立藤河小学校/山口県岩国市立川上小学校/周南市立秋月小学校/山口県下関市立向井小学校/下関市立王喜小学校
徳島	4	4	19	キッズステーション NARUTO/あきやまきっず/松田家/さなごうち村
香川	7	31	318	麻っ子ぼうえいたい/香川大学防災ボランティア講座/香川県高松市立牟礼南小学校/高松市立太田南小学校/高松市立川岡小学校6年団/高松市立高松第一小学校/香川県高松市立塩江小学校
愛媛	5	13	56	みさけ探検隊/けんこうブラザーズ/じょう探検隊/愛南町立柏小学校/愛媛県宇和島市立遊子小学校
高知	9	46	290	南海少年寮/こうちチャレンジ防災探検隊/土佐市立新居小学校/高知県長岡郡本山町立立山小学校/高知県安芸市立安芸第一小学校/高知市立旭小学校/高知県本山町立吉野小学校/高知市立浦戸小学校/児童養護施設 子供の家
福岡	10	41	235	ボーイスカウト糸島第2団カブスカウト隊/バンジー探検隊/長丘ぼうさい探検隊/KID'S蓮華ミニバスケットボールクラブ/安心・安全 楽しみ隊/古賀キッズ/折尾探検隊/大牟田市立みなと小学校/大牟田市立明治小学校/福岡市立三苦小学校
佐賀	5	16	79	のこみっ子 アンゼンジャー/あかまつ探検隊/北鹿島探検隊/西っこキッズ/佐賀県鹿島市立鹿島小学校
長崎	3	6	119	西山台探検隊/千年ファミリー/長崎県長崎市立戸町小学校 戸町学童保育たけのこクラブ
熊本	3	3	14	玉祥寺たんけん隊3/帯山こがあぶなな隊/はるかな
大分	3	4	39	碩田学園児童育成クラブ/ポラリス児童クラブ/吉野児童育成クラブ
宮崎	7	9	149	えがおでみらいをまもれなかよし探検隊/いしざき探検隊/神宮西町探検隊/南方小ゆりかご児童クラブ/社会福祉法人ゆりかご福祉会 ゆりかご児童館 ゆりかご児童クラブ/社会福祉法人ゆりかご福祉会第二ゆりかご児童クラブ/社会福祉法人愛育福祉会 こぼと児童クラブ
鹿児島	7	32	176	T.Kキッズ/武岡探検隊/探検隊/パート2/TFマスターキッズ/鹿児島県鹿児島市立西田小学校/鹿児島県鹿児島市立皆与志小学校/阿久根市立阿久根小学校
沖縄	30	40	272	座安キッズ/なはっこ探検隊/沖縄県糸満市フラワー探検隊/うぶらっ子探検隊/東浜ぼうさい探検隊/こくらくこガールズ/那覇市立那覇小学校/子供の世界学童クラブ/豊崎学童クラブ/フレンドスター学童クラブ/読谷村防災マップチーム/おひさまきっず/ひだまり学童CLUB/一般社団法人あしびな一童夢 津嘉山学童クラブ/牧港学童クラブ 分室/第二牧港学童クラブ/牧港学童クラブ/豊崎児童クラブ/平一放課後児童クラブ/いしかわ児童館/沖縄県南風原町立本部児童館/社会福祉法人三河福祉会 すてら学童クラブ/北山学童/ひばり放課後児童クラブ/沖縄県豊見城市志茂田児童クラブ/沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ/宜野湾市我如古児童センター/わくわく東風平学童クラブ/にこにこ学童大西クラブ/沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター

過去の入選作品

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体(第16回～第20回まで)

※「」内はチーム名です。

参加団体数・ マップ数・児童数	第16回(2019年度)594団体(240校・354団体) 2,541作品 16,492人	第17回(2020年度)307団体(76校・231団体) 960作品 5,159人
文部科学大臣賞	宇和島市立三浦小学校 「防災キッズ TOYOURA 4」(4、5年生/愛媛県)	北川家 「北川ブラザーズ」(6年生/三重県)
防災担当大臣賞	かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会 「内高松子ども会」(6年生/石川県)	宇和島市立三浦小学校 「防災キッズ ファイブスター」(3、4年生/愛媛県)
消防庁長官賞	豊田市立足助小学校 「足助の安全・安心を守るたんけん隊」(4年生/愛知県)	北海道札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」(2～6年生/北海道)
まちのぼうさいキッズ賞	本山町立吉野小学校 「少年少女防災探検隊」(5、6年生/高知県)	福島県相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」(3年生/福島県)
気象庁長官賞	香川県三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」(1～6年生/香川県)	足立区立西新井小学校 「西新井小学校」(5年生/東京都)
キッズリスクアドバイザー賞	岡山県岡山市立宇野小学校 原尾島チーム 「宇野小学校 原尾島チーム」(3、5年生、中学1年生/岡山県)	岡山県岡山市立宇野小学校 原尾島チーム 「岡山市立宇野小学校 原尾島チーム」(4、6、中学2年生/岡山県)
未来へのまちづくり賞	横浜市立汐見台小学校 「汐見台パトロール隊」(6年生/神奈川県)	奥尻町立青苗小学校 「奥尻町 青苗小3・4年 ぼうさいキッズ」(3、4年生/北海道)
わがまち再発見賞	北川ブラザーズ 「北川ブラザーズ」(5年生/三重県)	沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター 「スマイルフラワー」(5、6年生/沖縄県)
ぼうさい探検隊賞	足立区立西新井小学校 「西新井小学校 水色チーム」(5年生/東京都)	小浜市立雲浜小学校 「雲浜防災マップ作り隊」(3年生/福井県)
審査員特別賞	北海道札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来見守り隊」(1～6年生、中学1、2年生/北海道)	中里放課後子ども教室 「中里放課後子ども教室」(4年生/岩手県)
	西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ 「こすもす探検隊」(4、5年生/福島県)	西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ 「こすもす探検隊」(4年生/福島県)
	富士見キッズ 「Chipika」(3、4年生/東京都)	公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ 「向丘小学校わくわくプラザ子どもリーダー」(1～3、5年生/神奈川県)
	長野県松本市 島内子ども会育成会 「チームしまうちっ子」(3～6年生/長野県)	ガールスカウト山口県第3団 「ガールスカウト山口県第3団ブラウニー(3年生)」(3年生/山口県)
	阿南市立津乃峰小学校 「つのみね小3年生」(3年生/徳島県)	愛南町立船越小学校 「船越防災隊」(3、4、6年生/愛媛県)
	『街角の、危険なヒヤリ!ハッと!』探検隊 「街角の、危険なヒヤリ!ハッと!」探検隊」(4年生/熊本県)	佐川町立斗賀野小学校 「犠牲者なくそう防災チーム」(6年生/高知県)
	豊見城市なないろ児童クラブ2 「ウォーターZグループ」(3、4年生/沖縄県)	社会福祉法人 愛育福祉会 こぼと児童クラブ 「こぼと探検隊」(2年生/宮崎県)
	豊崎学童クラブ 「とよさきこうえんまもりたい」(1、2年生/沖縄県)	豊崎学童クラブ 「豊見城安全守りたい」(1～4年生/沖縄県)
デジタルマップ特別賞		加美消防署西部分署 「どどんこばっく」(5年生/宮城県)
		ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53」(3～6年生、中学1年生/神奈川県)
		鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(1～6年生/三重県)
		阿南市立橘小学校 「ぼうさいさんぽ3班」(3年生/徳島県)
	豊見城市なないろ児童クラブ 「なないろキングス」(3年生/沖縄県)	

第18回(2021年度)371団体(73校・298団体) 971作品 5,697人	第19回(2022年度)410団体(84校・326団体) 1,179作品 6,137人
宇和島市立奥南小学校 「板の浦・中浦なかよし組」(3~6年生/愛媛県)	福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊 「みつばちぼうさい探検隊」(3年生/福島県)
はちぶせ探検隊 「みんなの命をつなぎ隊 谷瀬三兄弟」(1、4、6年生/和歌山県)	蓮田安心探検隊 「蓮田安心探検隊」(4年生/埼玉県)
長岡郡本山町立本山小学校 「本山町土砂災害なくし隊」(6年生/高知県)	公益財団法人かわさき市民活動センター 東小田小学校わくわくプラザ 「東小田小学校わくわく調査隊」(2、3年生/神奈川県)
Kids Creation Afterschool 「Kids Creation TSUKUBA ぼうさい探検隊」(1~4、6年生/茨城県)	北海道函館聾学校 「函聾5年生」(5年生/北海道)
公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ 「みんなのためにがんばる!子どもリーダー」(1~3年生/神奈川県)	伊予市立佐礼谷小学校 「佐礼谷小学校ほたる守り隊」(5、6年生/愛媛県)
ひとよし防災ワクワク組 「ひとよし防災ワクワク組」(1、2、4年生/熊本県)	みやた探検隊 「宮田探検隊」(1、4年生/長野県)
西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ 「こすもす探検隊」(4年生/福島県)	岩手県盛岡市立厨川小学校 境田町子供会 「境田町子ども会」(6年生/岩手県)
小浜市立雲浜小学校 「チームうんぴん」(4年生/福井県)	レックス探検隊 「とあみり」(4、6年生/滋賀県)
奥尻町立青苗小学校 「青苗小3・4年ぼうさいキッズ」(3、4年生/北海道)	かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会 「『STOP! アクシデント』キッズ」(6年生/石川県)
北海道札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」(3~6年生/北海道)	奥尻町立青苗小学校 「青苗小3・4年 ぼうさいキッズ」(3、4年生/北海道)
中里放課後子ども教室 「中里放課後子ども教室」(4年生/岩手県)	石巻市立北上小学校 「北上小学校4年生(現5年生)」(4年生/宮城県)
相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ 「かもめ探検隊」(3年生/福島県)	公益財団法人かわさき市民活動センター宮崎こども文化センター 「宮崎こ文パトロール隊」(3、4年生/神奈川県)
レンジャー探検隊 「レンジャー探検隊」(6年生/茨城県)	宇和島市立奥南小学校 「たんけん隊(船間、楠ヶ浦、大良)」(4~6年生/愛媛県)
かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会 「地域の皆を守り隊」(6年生/石川県)	筒井探検隊 「筒井探検隊」(2、4年生、年少/福岡県)
かほく市子ども会 宇ノ気支部 栄町子ども会 「栄町キッズレンジャー」(5、6年生/石川県)	石垣市立名蔵小学校 「名蔵探検隊」(5、6年生/沖縄県)
沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター 「スマイル探検隊」(3、5年生/沖縄県)	豊崎学童クラブ 「toyosakiガールズ」(3、4年生/沖縄県)
北山学童 「みんながたいせつ守り隊」(4年生/沖縄県)	北山学童 「手をつないですすめ隊」(3、5年生/沖縄県)
THE OBATA 「THE OBATA」(6年生/愛知県)	大野小学校 野木崎地区探検隊 「野木崎地区探検隊」(2、6年生/茨城県)
ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53 2班」(4、6年生/神奈川県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(2~6年生、年長、年中/三重県)
いまいずみ児童クラブ 「いずみっこ anzen洪水チーム」(3~5年生/静岡県)	大西キッズ 「大西キッズ」(3、5年生/山口県)
鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(1~5年生、幼児/三重県)	高知県立高知ろう学校 「高知ろう学校小学部」(3、5年生/高知県)
沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ 「防災キッズレインボー探検隊」(2、3年生/沖縄県)	沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ 「オーシャンスカイ探検隊」(3、4年生/沖縄県)

過去の入選作品

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体(第16回～第20回まで)

※「 」内はチーム名です。

参加団体数・マップ数・児童数	第20回(2023年度)658団体(113校・545団体)1,708作品 8,904人
文部科学大臣賞	宇和島市立遊子小学校 「遊子みんなの命を守り隊」(6年生/愛媛県)
防災担当大臣賞	石巻市立北上小学校 「北上小学校」(5年生/宮城県)
消防庁長官賞	有田郡有田川町立石垣小学校 「防災たんけん石垣っ子」(4,5年生/和歌山県)
まちのぼうさいキッズ賞	Kids Creation Afterschool 「Kids Creation Afterschool ぼうさい探検隊」(1～6年生/茨城県)
気象庁長官賞	土佐市立蓮池小学校 「蓮池は一す隊」(5年生/高知県)
キッズリスクアドバイザー賞	大西キッズ 「大西キッズ2023」(4,6年生,年長/山口県)
未来へのまちづくり賞	旭市立中和小学校 「中和小学校4年1組」(4年生/千葉県)
わがまち再発見賞	奥尻町立青苗小学校 「青苗小3・4年ぼうさいキッズ」(3,4年生/北海道)
ぼうさい探検隊賞	中里放課後子ども教室 「中里放課後子ども教室」(4～6年生/岩手県)
審査員特別賞	相馬市立中村第二小学校放課後児童クラブ いるかクラブ 「いるか探検隊」(3年生/福島県)
	福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊 「みつばち防災探検隊」(3年生/福島県)
	西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ 「こすもす防災探検隊」(4～6年生/福島県)
	小浜市立雲浜小学校 「チーム4雲」(4年生/福井県)
	愛南町立柏小学校 「柏じまんチーム」(3～6年生/愛媛県)
	愛南町立柏小学校 「チームZAKI」(6年生/愛媛県)
	宇和島市立立間小学校 「八坂・高森」(3～5年生/愛媛県)
デジタルマップ特別賞	にこにこ学童大西クラブ 「えがおを守るたんけん隊」(2～4,6年生/沖縄県)
	ガールスカウト 神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53」(1,3,4,6年生/神奈川県)
	池小学童クラブ サニーサイド 「防犯たんけんパンダ隊」(4年生/静岡県)
	日本ボーイスカウト奈良県連盟 大和郡山第1団カブスカウト隊 「いつもげんき!1組」(3～5年生/奈良県)
	沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ 「なないろユニバース探検隊」(3,4年生/沖縄県)
沖縄県豊見城市志茂田児童クラブ 「しもた安全隊」(3～5年生/沖縄県)	

継続参加団体

応募回数	学校・団体名
21回連続	愛知県豊田市立足助小学校
20回	福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊／鳥羽市安楽島子ども会
19回	(該当なし)
18回	ガールスカウト神奈川県第53団／ガールスカウト静岡県第34団
17回	社会福祉法人ゆりかご福祉会第二ゆりかご児童クラブ
16回	正木 KIDS FIRE GUARD
15回	いるかクラブ(中村第二小学校放課後児童クラブ)／鳥羽市かもっこ放課後子ども教室
14回	ボーイスカウト富士吉田第1団カブ隊／ガールスカウト静岡県第24団／和歌山県有田郡広川町立広小学校
13回	ボーイスカウトさいたま104団カブ隊／吉野児童育成クラブ／ひばり放課後児童クラブ
12回	東京都足立区立伊興小学校／かほく市子ども会 宇ノ気支部 横山子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 外日角子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 松浜みどり子ども会／和歌山県新宮市立三輪崎小学校／社会福祉法人 愛育福祉会 こぼと児童クラブ／沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター
11回	北海道奥尻町立青苗小学校／かほく市子ども会 宇ノ気支部 宇気子ども会／かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会／かほく市子ども会 高松支部 上伊丹町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 三北子ども会／かほく市子ども会 高松支部 瀬戸町子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 青空子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 木津よつば子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 遠塚ひばり子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 はまなす子ども会／岐阜県可児市立広見小学校／鳥羽市あらっこ放課後子ども教室／山口県下関市立向井小学校

上記は、これまでの21年間のマップコンクールにおいて、継続的にご応募いただいている小学校・団体(21回のうち11回以上のご参加)です。

今後もぜひ、定期的・継続的な活動として取り組んでいただければ幸いです。



一般社団法人 日本損害保険協会 会員会社一覧

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
 アイペット損害保険株式会社
 アクサ損害保険株式会社
 アニコム損害保険株式会社
 イーデザイン損害保険株式会社
 A I G 損害保険株式会社
 エイチ・エス損害保険株式会社
 S B I 損害保険株式会社
 a u 損害保険株式会社
 株式会社 N T T ドコモ損害保険
 キャピタル損害保険株式会社

共栄火災海上保険株式会社
 さくら損害保険株式会社
 ジェイアイ傷害火災保険株式会社
 セコム損害保険株式会社
 全管協れいわ損害保険株式会社
 ソニー損害保険株式会社
 損害保険ジャパン株式会社
 SOMPOダイレクト損害保険株式会社
 大同火災海上保険株式会社
 東京海上日動火災保険株式会社
 トーア再保険株式会社

日新火災海上保険株式会社
 日本地震再保険株式会社
 ペット&ファミリー損害保険株式会社
 三井住友海上火災保険株式会社
 三井ダイレクト損害保険株式会社
 明治安田損害保険株式会社
 株式会社ヤママップネイチャランス損害保険
 楽天損害保険株式会社
 レスキュー損害保険株式会社

2025年1月現在(会員会社31社 50音順)

一般社団法人 **日本損害保険協会** 〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9

業務企画部 啓発・教育・防災グループ **TEL : 03-3255-1215 FAX : 03-3255-1236**



ぼうさい探検隊
特設サイト



防災情報サイト
「そんぽ防災Web」

